年　報　34

2017年度
（平成29年度）

2018.8

山梨県埋蔵文化財センター

序

本年報は、山梨県埋蔵文化財センターが開所35年目となる平成29年度に実施しました発掘調査事業と考古資料および史跡の活用事業の概要を報告するものです。

記録保存を目的とする本格的な発掘調査は、県内6カ所で実施しました。注目される遺跡としては、県庁公用車等駐車場建設工事に伴い甲府城下町遺跡で江戸時代の集水枡や石垣が確認されました。この場所は武家屋敷や役所、倉庫などが置かれた武家地にあたり、調査区のすぐ脇には「二の堀」が流れており、そこへ向かって緩やかに傾斜する地形をしていました。また既に多くの出土品が重要文化財に指定されている北杜市酒呑場遺跡では、狭い調査範囲にもかかわらず縄文時代中期後半の多くの遺構と遺物が検出されました。

遺跡の整備事業としては、県指定史跡甲府城跡で継続的に実施している石垣補修事業を、史跡指定地域全体を対象に実施しました。

県内遺跡の分布調査としては、試掘調査10件、立会調査3件、踏査1件の合計14件を実施しました。注目される成果として、現在の増穂商業高校、市川高校及び峡南高校を再編・統合し峡南地域単位制・総合制高校を建設する事業に伴う試掘調査では、包蔵地外であったにもかかわらず地表下2m以下に良好な遺物包含層が確認され、新町前遺跡として登録されることとなり次年度の本調査実施が決まりました。

情報発信としましては、信州大学付属図書館（全国遺跡資料リポジトリプロジェクト）との連携により運用されてきました発掘調査報告書の電子公開が、平成27年6月から（独）国立文化財機構奈良文化財研究所において「全国遺跡総覧」として統合され、当センターの刊行物も含め、全国規模で情報公開が推進されております。

当センターでは今後とも埋蔵文化財・史跡の調査研究、保護・保存、活用に努めて参りますので、なお一層のご支援をお願い申し上げます。

平成30年8月

山梨県埋蔵文化財センター
所長　馬　場　博　樹

目　次

序
凡例・職員組織

第Ⅰ章　2017年度の事業概要
1　発掘調査等……1
2　整理作業……1
3　ふるさと山梨文化財歴史発見事業（国庫補助事業）……2
4　第30回市町村埋蔵文化財発掘担当者研修会 ……8
5　出張展示……8
6　Jomon FES（縄文王国山梨実行委員会主催）への参加協力 ……9
7　広報誌「埋文やまなし」・研究紀要・年報 ……9
8　遺跡データ管理（GIS）……10
9　報告書リポジトリ……10
10　埋蔵文化財センター・考古博物館峡北収蔵施設……10
11　寄贈・購入図書……10
12　資料普及事業の集計表……10

第Ⅱ章　各遺跡の発掘調査等概要
1　記録保存のための発掘調査
1－1　甲府城下町遺跡（甲府駅南口周辺地域修景計画）……16
1－2　甲府城下町遺跡（水景地点）……18
1－3　甲府城下町遺跡（公用車等駐車場地点）……19
1－4　酒呑場遺跡（第5次調査）……21
1－5　枇杷塚遺跡・相垈墨址 ……23
1－6　狐原遺跡 ……25
1－7　中島遺跡・下河原遺跡 ……27
2　整備事業に伴う調査
2－1　県指定史跡甲府城跡石垣維持管理事業 ……29
3　県内分布調査 ……31

第Ⅲ章　県内の概況
1　届出件数と内容 ……39
2　発掘調査 ……39
3　県・国指定有形文化財（考古資料）及び県・国指定史跡 ……39
4　発掘調査の成果と保存整備事業 ……39
5　発掘調査体制 ……40
発掘届出件数・発掘調査件数の推移・2017年度県内発掘調査一覧表……41～45

2017年度　発掘調査等遺跡位置図

凡　例

1　本書は、2017年度の山梨県埋蔵文化財センターの事業をまとめたものである。

2　本書の編集は、米田明訓が行った。

3　2017年度の収蔵資料の貸出し及び掲載許可一覧、発掘調査一覧表は2018年3月末日現在で集計したものである。

4　第2章各遺跡の発掘調査等概要における発掘調査面積の（　）内は、調査対象面積である。

5　左記の地図は、2017年度発掘調査遺跡の位置図である。なお、地図中の番号は、1頁の発掘調査の表に対応している。

2017（平成29）年度　職員組織

所長	中山誠二
次長（兼）	高野玄明
総務課長（兼）	高野玄明
調査研究課長	今福利恵
史跡資料活用課長	保坂和博

総務課	
副主査	齊川征志郎
主任	中山尚行
主任	廣野澄香
主事	水間諭

調査研究課	
主幹・文化財主事	吉岡弘樹
副主幹・文化財主事	笠原みゆき
主幹・文化財主事	井上彰雄
主幹・文化財主事	浅川一郎
文化財主事	須長愛子
文化財主事	熊谷晋祐
非常勤嘱託	塩谷風季
非常勤嘱託	長田隆志
非常勤嘱託	保坂悠太

史跡資料活用課	
副主幹・文化財主事	石神孝子
主査・文化財主事	依田幸浩
副主査・文化財主事	飯室剛史
専門員	米田明訓
主任・文化財主事	柴田亮平
文化財主事	上野桜
非常勤嘱託	末木健
非常勤嘱託	小池準一
非常勤嘱託	佐藤敏孝

第Ⅰ章　2017年度の事業概要

1　発掘調査等

2017年度の発掘調査等は、以下のとおりである。各遺跡の概要は、第Ⅱ章で述べることとする。

1）記録保存のための発掘調査

番　号	調　査　名　他
1 - 1	甲府城下町遺跡（甲府駅南口周辺地域修景計画）
1 - 2	甲府城下町遺跡（水景地点）
1 - 3	甲府城下町遺跡（公用車等駐車場地点）
1 - 4	酒呑場遺跡（第５次調査）
1 - 5	枇杷塚遺跡・相垈墓址
1 - 6	狐原遺跡
1 - 7	中島遺跡・下河原遺跡

2）整備事業に伴う調査

番　号	調　査　名　他
2 - 1	県指定史跡甲府城跡石垣整備事業

3）県内分布調査

番　号	事　業　名　他	調査内容
3 - 1	新山梨環状道路東部区間Ⅰ期建設事業《包蔵地外》	試掘
3 - 2	新山梨環状道路東部区間Ⅱ期建設事業《包蔵地外》	試掘
3 - 3	西関東連絡道路Ⅱ期建設事業《中島遺跡》《下河原遺跡》	試掘
3 - 4	子どもの心のケアに係る総合拠点整備事業《住吉天神遺跡》	試掘
3 - 5	峡南地域単位制・総合制高校建設事業《包蔵地外》《新町前遺跡隣接》	試掘
3 - 6	甲府工業高校専攻科建設事業《包蔵地外》	試掘
3 - 7	甲府工業高校専攻科建設事業《塩部遺跡》	試掘
3 - 8	山梨県立高等支援学校桃花台学園浄化槽等理設事業《狐原遺跡》	試掘
3 - 9	中央新幹線（高下地区）建設事業《包蔵地外》	試掘
3 - 10	新山梨環状道路北部区間（コウモリBOX）建設事業《包蔵地外》	試掘
3 - 11	県立興譲館高等学校建設事業《三ノ側遺跡》	立会
3 - 12	鎌田川河川改修工事事業《包蔵地外》	立会
3 - 13	県立中央病院屋上ヘリポート給油設備工事《富士見一丁目遺跡隣接》	立会
3 - 14	笛吹川沿岸国営施設機能保全事業に先立つ事業甲州市殿林遺跡・安道寺遺跡周辺の詳細分布調査	踏査

2　整理作業

2017年度の整理作業等は、以下のとおりである。

1）基礎的整理作業

番　号	遺　跡　名
1	酒呑場遺跡（畜産酪農技術センター長坂支所施設等整備事業）
2	枇杷塚遺跡・相垈墓址（国道141号相垈交差点改良工事）
3	甲府城下町遺跡（公用車等駐車場地点）

2）本格的整理作業

番　号	遺　跡　名
1	隼遺跡（国道140号落石防止・崩落防止対策工事）
2	上コブケ遺跡Ｅ区

3）報告書刊行一覧

番　号	報　告　書　名
第316集	隼遺跡―国道140号落石防止・崩落防止対策工事に伴う発掘調査報告書―
第317集	山梨県内分布調査報告書（平成29年１月～12月）
	県指定史跡甲府城跡　甲府城跡総合調査検討委員会報告書

3　ふるさと山梨文化財歴史発見事業（国庫補助事業）

3－1　県指定史跡甲府城跡の活用事業

県指定史跡甲府城跡（舞鶴城公園）は、1990年から県土整備部主導で舞鶴城公園整備事業に着手し、文化財の保護と安全性の向上等を目的として城内の整備を実施してきた。また、2004年度には稲荷櫓が、2013年度には鉄門が復元整備され、公開されている。埋蔵文化財センターでは、これらを拠点として、地域活性化や甲府城跡の歴史的風格を高めることを目的とし、年間を通して様々な活用事業を実施している。2017年度は、甲府城跡においてこれまで実施されてきた発掘調査や絵図・文書等の調査の成果をもとにした教育普及活動（鉄門展）と、鉄門や城内を活用して県民が甲府城跡に親しみを持つきっかけをつくる活動（ひらけ！玉手箱）の２種類のイベントを実施した。

(1) 甲府城跡稲荷櫓　常設展・特別展

会期：2017年4月1日～2018年3月31日

対象・参加人数：小中学生・一般　2,354名

会場：県指定史跡甲府城跡　稲荷櫓

内容：県指定史跡甲府城跡（舞鶴城公園）の稲荷櫓で甲府城跡および甲府城下町遺跡を紹介するパネル展示を行った。甲府城跡では、発掘調査の状況と整備された遺構の見所を説明した。甲府城下町遺跡では、現在でも見られる地形の改変の状況や、排水のための水路について説明した。また、石垣の築造に使われる石工道具やこれまでの発掘調査で出土した遺物の展示を行った。

(2) 信玄公祭り関連鉄門展「みせます！甲府城＆城下町のひみつ展」

会期：2017年4月７日～４月16日

対象・参加人数：幼児・小中学生・一般1,433名

場所：県指定史跡甲府城跡　鉄門、稲荷櫓

内容：県指定史跡甲府城跡は、野面積み石垣が良好な状態で残る国内でも有数の近世城郭として評価されている。例年信玄公祭りに併せて甲府城鉄門及び稲荷櫓で甲府城の価値をテーマにした展示会を開催することで、県民の甲府城に対する正しい理解と興味・関心を高める機会としている。本年度で第16回目となる今回は、甲府城と甲府城下町をテーマとして甲府城の築造や石垣の価値についてパネル展示をおこなった。

(3) 小江戸甲府の夏祭り

日時：2017年8月11日（金）

対象・参加人数：幼児・小中学生・一般　680名

会場：県指定史跡甲府城跡

内容：県指定史跡甲府城跡（舞鶴城公園）で開催された甲府市の主催イベント「小江戸甲府の夏祭り」に埋蔵文化財関連のブースを出展し、甲府城の歴史や石垣の見どころを知ってもらうための体験活動等を行った。また、参加者には甲府城クリアファイルや甲府城の歴史をコンパクトに説明した小冊子「しろなび甲府城」、絵はがきなどを配布した。

(4)「ひらけ！玉手箱」

日時：2017年11月５日（日）午前11時～午後3時

対象・参加人数：幼児・小中学生・一般5,925名

場所：県指定史跡甲府城跡

内容：埋蔵文化財センターでは資料普及事業と甲府城跡鉄門整備事業の一環として、郷土の文化財や伝統、歴史に関心を深めてもらうことを目的とした「ひらけ！玉手箱」を過去６回開催し、各回1,000名以上の参加を得てきた。甲府城や城下町への関心が高まっている中、本年度も広く本県の歴史や文化を体感する文化財のお祭りを開催し、埋蔵文化財への興味と理解を深める機会とした。本年度は例年行っている内容を見直し、一部小中学生に限定した「冒険」をテーマとした体験ブースを設定したほか、埋蔵文化財センターが出土遺物から復元及びあく抜き実験をおこなうトチの実を素材としたトチ餅等の試食などを行った。

［常設体験ブース］

①江戸時代バーチャル体験：「風雲！甲府城」

②江戸時代を体験：千両箱重さ体験、火縄銃ゴム鉄砲体験、手裏剣体験、泥メンコ体験

③甲府城で郷土の伝統芸能：伝統的大道芸、甲府に縁の金魚すくい、石積み体験

ひらけ！玉手箱（風雲！甲府城）

ひらけ玉手箱（鬼ごっこ）

④郷土の歴史を勉強しよう：甲府城ぬりえ、甲府城ペーパークラフト、文化財関連パンフレットの配布、甲府城パネル展

３－２　国史跡銚子塚古墳附丸山塚古墳の活用事業

(1) 古墳で勇者

日時：2017年5月3日(水)・4日(木)午前9時30分～午後3時30分

対象・参加人数：小中学生・一般　349名

内容：国指定史跡銚子塚古墳附丸山塚古墳の価値を広く周知することを目的とする。銚子塚古墳を舞台にした各種のアトラクションやクイズなどをとおして、参加者自身が体を動かし、記紀などに残る古代日本の様々なエピソードを現代風にアレンジして体験することで、子どもたちの印象に残るイベントとする。小学校高学年や中学校で歴史を学ぶ時に関連づけられるものとなる。

①第一の挑戦　丸山塚古墳の角度を当てろ！

②第二の挑戦　行く手をじゃまする鹿をたおせ！

③第三の挑戦　大変だ！火に囲まれた。火を消せ！

④第四の挑戦　翁をしりとりで倒せ！

⑤オオキミからのごほうび

数々のゲームをクリアして、オオキミからほうびのガラス玉をもらう参加者

(2) 古墳でマツリ

日時：2017年11月20日（月）午後1時～3時

対象・参加人数：小中学生・一般　38名

内容：近年これまでの調査研究から、明らかになってきた銚子塚古墳が造られた古墳時代前期のマツリについて、劇という形で再現し、一般参加者に加わってもらうことで、山梨の古墳時代について理解を深めてもらう機会とした。参加者は復元した貫頭衣を着用し、勾玉等の装身具を身につけた。

①第一幕　銚子塚古墳の王登場

②第二幕　王のマツリの宣言

③銚子塚古墳で水のマツリ

・巫女の衣装を着た参加者が水をまいて大地を清めた。

④豊穣のマツリ

・オオキミが豊作に感謝ⅰモチをつく（石製杵模造品の説明）ⅱ楽器をならす（鈴や太鼓）ⅲ古墳行列で後円部まで行進。

銚子塚古墳の王による古墳の解説

3－3　遺跡見学会

(1) 甲府城下町遺跡　現地説明会

日時：2017年6月24日(土)午前の部：午前10時～正午　午後の部：午後1時～3時

対象・参加人数：一般88名(午前64名・午後24名)

内容：甲府城下町遺跡は、県庁立体駐車場建設のため、本年5月より発掘調査を開始した。遺跡は近世城郭甲府城跡(県史跡)の西側で、二の堀に接するように位置する。発掘調査では、二の堀のすぐ東側で堀に関連すると推定される集水升及び集水升と接続する暗渠等、また調査区内では石垣等が確認され、江戸時代の城下町の姿を知ることができた。

甲府城及び甲府城下町は日頃から県民の関心が高く、このような成果を一般に広く知ってもらい、甲府城及び城下町への理解を深めるため、現地説明会を開催した。現地説明会では、集水升や石垣を中心に見学を行い、集水升の構造や二の堀との関連、二の堀とはどのようなものかなどを説明した。また、発掘調査で出土した遺物の展示も行った。

はじめの挨拶

遺跡を見学する様子

(2) 酒呑場遺跡　現地説明会

日時：2017年9月9日(土)午前の部：午前10時～正午　午後の部：午後1時～3時

対象・参加人数：一般26名(午前15名・午後11名)

内容：酒呑場遺跡は、畜産酪農技術センター長坂支所施設建設に伴い、本年5月から調査を開始した。本遺跡は畜産酪農技術センター（当時は酪農試験場）立て替えに伴い、過去にも大規模な発掘調査を行われ、出土した遺物の一部は国重要文化財に指定されている。今回の調査では、既発掘調査成果である縄文時代中期中葉の集落跡に後続する中期後半曽利式期の集落跡が確認されたため、このような成果をいち早く県民に公開し、地域の歴史に興味をもつきっかけになるよう現地説明会を実施した。調査地は畜産酪農技術センター内に所在し、隣接地では牛の飼育が行われていて、牛への刺激を避けるため参加者数が限定されていたがほぼ定員の人数が集まった。見学会では担当者が遺跡の概要や過去の発掘調査成果、今回確認した集落跡の解説、縄文時代中期中葉の竪穴住居跡等の遺構の特徴や出土遺物について説明をおこなった。

見学会開会の様子

縄文時代中期後半の住居跡の解説状況

３－４　教育現場への支援事業

(1) 古代を実体験！授業作り研修会

日時：2017年8月17日（木）

対象・参加人数：小学校教員2名・特別支援学5名　合計7名

場所：風土記の丘研修センター実習室

内容：埋蔵文化財センター所蔵の埋蔵文化財を公立学校教員が、授業・総合的な学習の時間等に安全かつ効果的に活用するため、考古資料の特性及び取り扱いについての研修を行った。研修会では、午前中は座学により埋蔵文化財センターの業務や考古資料の取り扱い、学校向け体験メニューなどについて、職員が説明した。午後からは火起こし体験や縄文土器の拓本体験などを実際に体験した。また前年度、当研修会に参加したことをきっかけに考古資料を授業メニューに取り入れた甲府支援学校の河西完先生を講師に招き、体験と効果についての講義を行った。この後、参加者の先生方に当センター職員が加わって、「考古資料を活用した授業づくりについて」をテーマにグループ討議を行った。

(2) 出前支援事業・考古資料貸出

日時：通年

対象・参加人数：小学校・中学校・高等学校・特別支援学校 延べ1,339名

内容：当センターでは、県内で育つ子どもたちが郷土の歴史に親しみ理解を深めるため、小中学校・高等学校・特別支援学校と連携し、考古資料を活用した次の2事業を行っている。

①出前支援事業

目的：考古資料を活用した授業について、埋蔵文化財センター職員が学校現場へ出向いて授業を支援する。

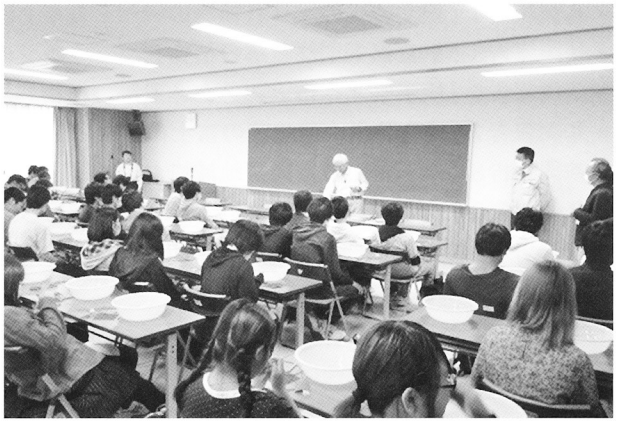
内容：縄文土器作り・勾玉作り・火起こし体験・拓本体験（縄文土器片を使用し拓本をとり、しおり作成を行う）・土器講話など

②考古資料貸出

目的：縄文時代から平安時代までの土器や石器等、考古資料を学校現場に貸し出し、授業内で生徒が本物の土器・石器等に触れ、理解を深めることを目的とする。

内容：縄文土器から平安時代までの土器及び石器、または古墳出土のガラス玉や近世のキセルなどを７つの種類に分類してそれぞれ貸出ケースに収納、教員が希望するセットを貸し出す。

出前支援事業（縄文土器作り）



出前支援事業（古墳時代の勾玉作り）

３－５　パンフレットの作成とウォーキング

日時：2017年4月11日～2018年3月18日

内容：県下全域の埋蔵文化財や歴史資料・文化財の活用を促進するために、平成２７年度から２９年度までの３ヶ年間の予定で、各地域ウォーキングのできるガイドマップを作成している。平成２７年度は甲府・峡中地域、平成２８年度は峡南地域を対象とした。今年度は、県東部地域を対象に、とりわけ大月～上野原地域の甲州街道をテーマとして、文化財ウォーキングガイドマップを作成した。このマップの配布とウォーキングを実施することで、地域の歴史文化や文化財の再発見と普及を行った。

①ウォーキングマップの作成「甲州街道往来図」

県東部の大月・上野原地域は、江戸幕府によって造られた五街道の一つ、甲州街道によって４百年前から

緊密に結ばれ、甲府盆地・国中地域とも強い結びつきが見られる地域である。甲州街道やそれ以前の古道を行き交った人々や文化、出来事などによって多くの遺跡や文化財が残されており、甲州街道そのものも埋蔵文化財センターにより発掘調査が行われている。こうしたものから、歴史・民俗などを再発見し、大人からこどもまで県民に広く周知することを目的として作成した。

②文化財ウォーキング「甲州街道歩いてみよう　上野原宿～鶴川宿」

日時：2018年3月18日（日）

参加人数：28名

内容：作成したウォーキングマップに基づいて、上野原宿から鶴川宿を歩いた。険しい尾根上を通る街道の独特の景観、甲州街道を伝わってきた物流や文化、周辺に点在する遺跡や文化財などを通じて、この地域の歴史や文化的価値について理解を深めた。

3－6　シンポジウム・講演会等

(1) 埋蔵文化財シンポジウム「縄文時代の植物資源の利用・管理・栽培を考える」

日時：2018年2月17日（土）午後1時20分～5時50分・18日（日）午前9時15分～正午

参加人数：177名

場所：山梨県庁防災新館オープンスクエア

内容：当センターでは、2004年度よりほぼ例年埋蔵文化財センターシンポジウムを開催し、これまでに13回を数える。今年度は近年全国的に注目度が高く、また遺跡からの出土事例が飛躍的に増加している縄文時代の植物遺体をテーマとしたシンポジウム「縄文時代の植物資源の利用・管理・栽培を考える」を開催した。シンポジウムでは、県内外の研究者9名が各テーマに沿って基調報告を行った後、討論会において意見を交換した。また聴講者として参加する異分野の研究者からも発言が見られるなど活発な意見交換を行った。また、当日は県内で採取したヤブツルアズキを煮豆にして、会場で希望者が試食する体験ブースを設けた。

〈基調報告〉

・基調報告1「縄文時代におけるクリ・ウルシを中心とした森林資源管理と利用」能城修一（明治大学黒耀石研究センター）
・基調報告2「縄文時代の編租製品にみる素材管理」佐々木由香（株式会社パレオ・ラボ）
・基調報告3「縄文時代のアサの利用について」工藤雄一郎（国立歴史民俗博物館）
・基調報告4「縄文時代のマメ科植物の利用と栽培」中山誠二（山梨県埋蔵文化財センター）
・基調報告5「東京都下宅部遺跡の植物利用　ウルシの栽培と漆製品」千葉敏朗（東村山市ふるさと歴史館）
・基調報告6「埼玉県北本市デーノタメ遺跡の植物利用」磯野治司（北本市教育委員会）
・基調報告7「縄文時代中期後葉の富士山噴火と上暮地新屋敷遺跡のクリ林の痕跡」篠原武（ふじさんミュージアム）
・基調報告8「八ヶ岳南麓と周辺地域における堅果類とマメ類の利用」佐野隆（北杜市教育委員会）
・基調報告9「長野県を中心とする中部山岳地域の種実を多量に混入する土器」会田進（明治大学黒耀石研究センター）
・発表者8名による公開パネルディスカッション

会場の様子

ディスカッションの様子

(2) 遺跡調査発表会

日時：上半期　2017年10月28日（土）午後1時30分～4時10分
　　下半期　2018年3月10日（土）午後1時～4時10分

参加人数：上半期65名　下半期100名

場所：上半期と下半期共に風土記の丘研修センター講堂

内容：平成29年度に遺跡調査をおこなった県内各地の遺跡とその価値について、県埋蔵文化財センター職員や市町村調査担当者がパワーポイントなどを交えながら解説を行った。また当日は出土品の展示もあわせて行った。

【上半期遺跡調査発表会】

（発表遺跡1）塩部遺跡（甲府市）	昭和測量株式会社 泉英樹
（発表遺跡2）御座田遺跡（韮崎市）	韮崎市教育委員会 渋谷賢太郎
（発表遺跡3）甲府城下町遺跡（甲府市）	県埋蔵文化財センター 柴田亮平
（発表遺跡4）下圦堰と石積出五番堤（南アルプス市）	南アルプス市教育委員会 斎藤秀樹

【下半期遺跡調査発表会】

（発表遺跡1）酒呑場遺跡（北杜市）	県埋蔵文化財センター 熊谷晋祐
（発表遺跡2）住吉遺跡（南アルプス市）	南アルプス市教育委員会 加々美鮎実
（発表遺跡3）神の前Ｂ遺跡（北杜市）	北杜市教育委員会 佐野　隆
（発表遺跡4）王塚古墳（中央市）	中央市市教育委員会 今村直樹
（発表遺跡5）国史跡新府城跡（韮崎市）	韮崎市教育委員会 閏間俊明

３－７　展示会

○知ろう山梨の歴史！山梨の遺跡発掘展２０１８

日時：2018年3月10日（土）～4月8日（日）

対象・参加人数：小中高校生・一般　3月末日現在で合計519名

会場：考古博物館企画展示室

内容：2017年度に山梨県内で実施された発掘調査（県教育委員会、市町村教育委員会および民間団体も含む）の成果の概要を写真パネルや出土遺物の展示により、わかりやすく広く一般県民に紹介する展示会である。同時に県埋蔵文化財センターが実施した普及活動の成果も紹介した。

①縄文時代：酒呑場遺跡（山梨県）、神の前Ｂ遺跡（北杜市）、安道寺遺跡（山梨県）

②古墳時代：枇杷塚遺跡（山梨県）、王塚古墳（中央市）、住吉遺跡（南アルプス市）、榎田遺跡（甲府市・昭和測量（株））、松ノ尾遺跡（甲斐市）

③平安時代：ケカチ遺跡（甲州市）、狐原遺跡（山梨県）、御座田遺跡（韮崎市）

④中世：新府城跡（韮崎市）

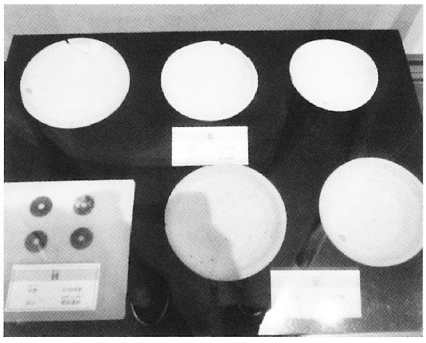
⑤近世：甲府城下町遺跡（山梨県）

⑥県内分布調査（山梨県）

⑦甲府城跡石垣維持管理、資料普及・活用事業（山梨県）

酒呑場遺跡

神の前Ｂ遺跡



榎田遺跡

4　第30回市町村埋蔵文化財発掘担当者研修会

講演の様子

日時：2017年12月15日（金）午後1時30分～4時30分
会場：風土記の丘研修センター　講堂
テーマ：埋蔵文化財行政におけるデジタル技術の導入について
講師：文化庁文化財部記念物課　文化財調査官　近江俊秀氏
参加者数：37名（講師を含む。）
内容：講演では、文化庁の文化財調査官近江氏により、文化庁から出された報告『埋蔵文化財保護行政におけるデジタル技術の導入について１』および『同２』の概要を分かりやすく解説していただいた。具体的にはデジタルカメラの導入、デジタルデータ保存、発掘調査報告書のデジタル化などに関する動向、指針、課題、対応を中 心にお話をしていただいた。

討論会では県外自治体の状況も参照しながら市町村が抱えるデジタル化の課題や対応について討論や情報交換を行った。討論を通して、市町村によりデジタル技術の導入や対応に差があり、同一の自治体でも担当者により対応が異なる場合があることなどがわかった。また、デジタル化以前の発掘調査に伴うフィルムや報告書などのデジタル化やそれを公開する際の課題も明らかになった。

5　出張展示

○富士の国やまなしフェア（イオン津田沼店）での縄文土器ー出張展示

日時：2017年7月15日（土）～7月16日（日）午前10時～午後5時
対象・参加人数：小中高校生・一般　2日間で合計696名
会場：イオン津田沼店
内容：山梨県とイオンの包括提携協定に基づき開催される「富士の国やまなしフェア」で山梨県の縄文土器を紹介するとともに、実際に土器に触れ、山梨の歴史文化に好感と多くの見所を知ってもらう機会とし、旅行などでの来県へと誘導することを目的とした。

県知事の内覧

拓本体験

展示解説の様子

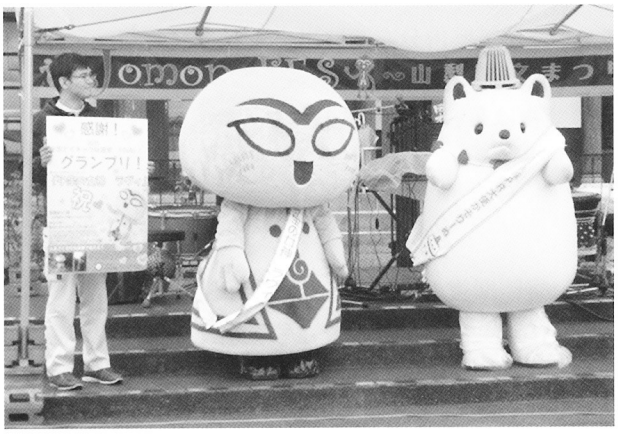
イベントの様子

6　Jomon FES（縄文王国山梨実行委員会主催）への参加協力

日時：2017年10月21日（土）午前11時～午後5時
対象・参加人数：小中高校生・一般　36名
会場：甲府駅北口広場
内容：縄文王国山梨実行委員会（県立考古博物館を含む県内7館の博物館で構成）が甲府駅北口広場で開催したイベントに拓本体験コーナーを設置して協力した。当日は土砂降りの雨であったが36名の参加者があった。

雨の会場

拓本体験



ゆるキャラ登場

土偶トークイベント

7　広報誌「埋文やまなし」・研究紀要・年報

(1) 広報誌「埋文やまなし」第54号～第56号の刊行

3回発行し、各号ごとに異なるテーマで特集を組み、埋文センターの活動を広報する内容とした。

第54号

・埋活を支える研究活動・江戸時代甲府の「水」にせまる。酒呑場遺跡・枇杷塚遺跡・「縄文土器づくりのこだわり」・埋文クラフト。

刊行時点での発掘調査速報と、土器づくりに焦点を当てた研究を活かした活用事業を特集した。

第55号

・学校での活用事業特集・発掘調査の現場から・埋文クラフト、学校への出前支援事業特集号、普通学校と支援学校での出前支援事業の実例を紹介。

第56号

・発掘担当者が語る平成29年度の発掘調査・特集山梨県埋蔵文化財センターシンポジウム「縄文時代の植物資源の利用・管理・栽培を考える」。平成29年度の発掘調査の総括とシンポジウムにおける植物考古学の成果、今後の課題を特集した。

(2) 研究紀要34と年報33の刊行

職員の研究論考等をまとめた研究紀要34と埋蔵文化財センターの2016年度の事業をまとめた年報33を刊行した。

8　遺跡データ管理(GIS)

2017年度の遺跡管理システム(Geographic Information System)に登録した遺跡の発見や範囲の変更については、1件であった。内容は、新規の遺跡発見(1. 西八代郡市川三郷町新町前遺跡) 1件であった。

9　報告書リポジトリ

2015年度までに第307集まで実施し、2017年度には第308集から第315集までの8冊を(独)国立文化財機構奈良文化財研究所の「全国遺跡総覧」にPDFデータとして提供した。

10　埋蔵文化財センター・考古博物館峡北収蔵施設

2017年度は、膳棚遺跡・廻り田B遺跡・甲府城下町遺跡・隼遺跡・県内分布遺跡出土資料を峡北収蔵庫に収蔵した。搬入した箱の総数は155箱である。

また、収蔵庫に置かれていた破損した発掘用具などの産業廃棄物は業者を使い撤去した。

11　寄贈・購入図書

図書は、毎年度約2,000～3,000冊が寄贈・購入されている。寄贈図書の内容は、全国の都道府県・市町村教育委員会から送付される発掘調査報告書、年報、研究紀要、博物館・資料館等の企画展図録などである。その他にも業務に関する考古学や歴史学の専門書、学術雑誌を購入している。

2017年度(平成29年度)は2,611冊の図書を登録し、専門書・学術雑誌の購入は66冊である。総登録数約106,089冊に大塚文庫約11,000冊を加えると約117,089冊が収蔵されていることになる。登録された図書データは、図書データベース(マイクロソフト社データベースアクセス)で管理し、蔵書の検索もできるようにしている。2013年度(平成25年度)からは、使用頻度が低いと思われる図書や重複している図書を、峡北収蔵庫まなび館へ搬出・整理(台帳作成)しているが、依然として閲覧スペースを含めた収蔵スペースの確保・整理が大きな課題となっている。

12　資料普及事業の集計表

2017年度の資料普及全事業の参加者集計表を次ページに示す。

収蔵資料貸出し一覧（入件順）

番号	貸出期間	申請者	利用目的	申請物件名	
1	2017.4.1 ～ 2018.3.31	県立北杜高等学校	郷土教育に活用するため	原町農業高校前遺跡	縄文土器15点
2	2017.4.1 ～ 2018.3.31	山梨中銀金融資料館	貨幣史コーナーに常設展示するため	金の尾遺跡	弥生土器1点
				花鳥山遺跡	石器10点
				米倉山Ｂ遺跡	貨泉1点
3	2017.4.1 ～ 2018.3.31	宝石美術専門学校	ジュエリーミュージアムにて常設展示のため	東山北遺跡	水晶原石1点・水晶製勾玉1点
				甲ッ原遺跡	水晶原石1点
				大木戸遺跡	水晶製石鏃1点・玦状耳飾り1点
				美通遺跡	玦状耳飾り1点
				塩瀬下原遺跡	垂飾1点
				頭無遺跡	大珠1点
				金の尾遺跡	垂飾1点・管玉1点
				四ツ塚古墳群	めのう製勾玉1点
				双葉2号墳	水晶製切小玉3点
				考古博物館構内古墳	石製勾玉3点・丸玉16点
				米倉山Ｂ遺跡1号墳	碧玉製管玉2点
4	2017.4.1 ～ 2018.3.31	山梨平和ミュージアム	常設展示のため	塩部遺跡	焼夷弾2点・焼夷弾弾頭1点
5	2017.4.1 ～ 2018.3.31	北杜市教育委員会	北杜市考古資料館において常設展示のため	横針前久保遺跡	石器25点
				天神遺跡	縄文土器12点・土偶1点・石器37点
				柳坪遺跡	縄文土器1点
				寺所遺跡	縄文土器1点・土師器6点
				城下遺跡	灰釉陶器1点・緑釉陶器1点・土師器1点・石器2点
				東原遺跡	羽口3点・土器1点・石器1点
6	2017.4.1 ～ 2018.3.31	山梨市フルーツパーク（株）	「甲州果物発展史」コーナーに常設展示するため	大師東丹保遺跡	クルミ16点・カヤ3点・トチ1瓶・モモ種子7点
7	2017.4.1 ～ 2018.3.31	南アルプス市教育委委員会	ふるさと文化伝承館に常設展示のため	百々遺跡	土器ほか21点
				横堀遺跡	土器ほか119点
8	2017.4.1 ～ 2018.3.31	総務部管財課	防災新館石垣展示室に展示のため	甲府城跡	胴木6点
9	2017.4.1 ～ 2018.3.31	県立博物館	常設展示のため	原町農業高校前遺跡	縄文土器1点・土器片など9箱
				酒呑場遺跡	石器52点
				塩部遺跡	馬骨12点
				大師東丹保遺跡	形代2点
				地耕面遺跡	斉串
				鰍沢河岸跡	生活用具等194点
				甲府城跡	鯱瓦1点・瓦3点・輪宝2点・ワイン瓶5点
10	2017.4.1 ～ 2018.3.31	大月市教育委員会	大月市郷土資料館において常設展示のため	塩瀬下原遺跡	土偶2点・石錘6点・縄文土器2点・石皿1点
				大月遺跡	縄文土器5点
11	2017.4.30 ～ 2018.3.31	独立行政法人奈良文化財研究所	日本学術振興会科学研究費補助金による調査研究のため	中谷遺跡	土器片30点
				天正寺遺跡	土器片15点
12	2017.6.1 ～ 2018.3.31	国立大学法人山梨大学	山梨県の文化振興の推進及び文化を通じた教育支援のため	宮の前遺跡	縄文土器1点
13	2017.8.18 ～ 12.20	長野県立歴史館	平成29年度秋季企画展「進化する縄文土器～流れるもようと区画もよう～」で展示のため	一の沢遺跡	縄文土器2点
				海道前Ｃ遺跡	縄文土器1点
14	2017.9.1 ～ 2018.1.28	北杜市教育委員会	平成29年度企画展「縄文人の装い～地中から現れた装身具たち～」展示用ブックレットに掲載のため	天神遺跡	装飾品12点
				原町農業高校前遺跡	装飾品4点
				甲ッ原遺跡	装飾品12点
				頭無遺跡	装飾品1点
				小坂遺跡	装飾品4点
15	2017.9.21 ～ 11.30	十日町市博物館	十日町市博物館春季特別展「動物の意匠―人と生き物のかかわり―」において展示のため	甲ッ原遺跡	縄文土器1点
				安道寺遺跡	縄文土器2点
				原町農業高校前遺跡	縄文土器1点
				上の平遺跡	縄文土器1点
				上コブケ遺跡	土製品1点
				美通遺跡	土製品1点
				甲府城下町遺跡	土製品1点
				出土地不明	土製品複製1点
16	2017.11.9 ～ 12.17	株式会社クリエイティブネクサス	日本テレビ「所さんの目がテン！」にて青銅鏡の磨き方を紹介する撮影および放映のため	当館所蔵品	連弧文銘帯鏡1点
					連弧文銘帯鏡鋳型1点
					連弧文銘帯鏡完成品1点

番号	貸出期間	申請者	利用目的	申請物件名	
17	2017.12.23～2018.3.31	静岡市教育委員会	登呂遺跡博物館平成29年度企画展Ⅳ「こだいの「ふふっ」で展示するため	平林2号墳	装飾品一式
				上の平遺跡	縄文土器など4点
				原町農業高校前遺跡	縄文土器など4点
				津金御所前遺跡	縄文土器複製1点
				海道前C遺跡	縄文土器など2点
				甲ッ原遺跡	縄文土器など4点
				酒呑場遺跡	人面装飾3点
				大木戸遺跡	土偶など2点
				安道寺遺跡	人面装飾3点
				宿尻遺跡	人面装飾1点
				村上遺跡	人面装飾1点
				獅子之前遺跡	動物装飾1点
				上コブケ遺跡	イノシシ形土製品1点
				一の沢遺跡	土偶複製1点
				岡遺跡	容器形土偶複製2点
				中溝遺跡	装飾品1点
				花鳥山遺跡	装飾品1点
				大月遺跡	翡翠大珠2点
				亀甲塚古墳	管玉一式
18	2017.12.16	公益財団法人山梨文化財研究所	実測・写真撮影・X線写真撮影を通じた資料の形状把握並びに木工具研究のため	大丸山古墳	鋸1点
19	2017.2.22～2018.4.27	公益財団法人山梨文化財研究所	石英石器の産地推定と石材流通に関する調査研究のため	獅子之前遺跡	石器および原石18点
				横針前久保遺跡	石器1点
20	2017.3.13～2018.3.15	保坂康夫	黒曜石の蛍光X線分析による産地分析のため	山本寿々雄コレクション	細石刃石核1点
21	2017.3.13～2018.4.27	公益財団法人山梨文化財研究所	石器石英の産地推定と石材流通に関する調査研究のため	上コブケ遺跡	石器および原石11点

収蔵画像資料貸出し・撮影許可一覧（入件順）

番号	申請日	申請者	利用目的	申請物件名	
1	2017.3.31	保坂康夫	研究論文に掲載のため	安道寺遺跡	縄文土器6点・調査写真4点
2	2017.4.3	山梨日日新聞社	山梨日日新聞紙面に掲載のため	百々遺跡	馬骨出土状況1点
3	2017.4.12	株式会社サンニチ印刷	駿台甲府高等学校通信制課程案内パンフレットに掲載のため	考古博物館	外観1点
4	2017.4.14	八晴商事(株)ホテル八田	ホームページにて周辺施設を紹介するため	考古博物館	外観1点・内観1点
5	2017.4.17	小林武人	鎌倉市龍口明神社に奉納のため	一の沢遺跡	縄文土器3Dデータ1点
6	2017.4.18	株式会社アルカ	①HPに掲載のため、②日本考古学協会総会資料等への広告掲載のため、③各公共団体遺跡発掘整理担当者への実績提示のため	身洗沢遺跡	実測図等数点
7	2017.4.20	株式会社メイカス	webサイト「休日プランたてる君」に掲載のため	考古博物館	外観1点・内観1点
8	2017.5.26	株式会社山梨放送	開局記念特別番組にて放映のため	考古博物館	前庭1点・内観3点
9	2017.6.2	岡谷市立岡谷美術考古館	特別企画展「縄文の夜神楽縄文遺産写真展」パンフレットへ掲載のため	安道寺遺跡	縄文土器1点
10	2018.6.3	長野県立歴史歴史館	平成29年度秋季企画展「進化する縄文土器～流れるもようと区画もよう～」でパネル等関連印刷物へ掲載するため	一の沢遺跡	縄文土器2点
				海道前C遺跡	縄文土器1点
11	6月6日	十日町市博物館	十日町市博物館春季特別展「動物の意匠―人と生き物のかかわり―」において展示パネル・図録・広報用印刷物のため	甲ッ原遺跡	縄文土器1点
				安道寺遺跡	縄文土器2点
				原町農業高校前遺跡	縄文土器1点
				上の平遺跡	縄文土器1点
				上コブケ遺跡	土製品1点
				美通遺跡	土製品1点
				甲府城下町遺跡	土製品1点
				出土地不明	土製品複製1点
12	6月12日	下関市立考古博物館	特別展「遥かなる音の世界」において、特別展図録に掲載のため	過去の図録掲載画像	10点
13	6月21日	株式会社洋泉社	『歴史ＲＥＡＬ　天下人の城』に掲載のため	甲府城跡	金箔飾瓦2点
14	7月10日	全国農業協同組合連合会	全国農業協同組合連合会みのりみのるプロジェクト発行のフリーペーパーに掲載のため	身洗沢遺跡	木製品集合1点
				地蔵堂塚古墳	蕨手刀1点
				考古博物館	内観3点
15	7月13日	株式会社小学館	『小学館ウィークリーブック　ニッポンの国宝１００』Vol.4に掲載のため	殿林遺跡	縄文土器1点

番号	申請日	申請者	利用目的	申請物件名	
16	8月2日	北杜市教育委員会	平成29年度企画展「縄文人の装い～地中から現れた装身具たち～」展示用ブックレットに掲載のため	天神遺跡	装飾品12点
				原町農業高校前遺跡	装飾品4点
				甲ッ原遺跡	装飾品5点
				頭無遺跡	装飾品1点
				小坂遺跡	装飾品4点
17	8月3日	下関市立考古博物館	特別展「遥かなる音の世界」において、特別展図録に掲載のため	酒呑場遺跡	土鈴1点・土偶1点
18	8月17日	甲斐市教育委員会	金の尾遺跡シンポジウム開催に伴う周知ポスター、遺跡展、金の尾遺跡パンフレットへの掲載のため	金の尾遺跡	調査風景写真4点
19	8月22日	北杜市教育委員会	平成２９年度北杜市考古資料館企画展「縄文時代の装い～地中から現れた装身具～」の展示解説パネル及び企画展の展示ブックレットへの掲載のため	酒呑場遺跡	調査写真等8点
				天神遺跡	調査写真等3点
				甲ッ原遺跡	調査写真1点
20	9月5日	株式会社フジテレビジョン	フジテレビＦＮＳ系列『ノンストップ！』「愛すべきモノがたり～陶磁器～」において放映のため	殿林遺跡	縄文土器1点
21	9月6日	株式会社山川出版社	ジュンク堂書店新潟店において、誉田亜紀子著『土偶界へようこそ』販売促進パネル展を開催し展示するため	大木戸遺跡	土偶1点
22	9月15日	株式会社山梨放送	山梨ライブ　てて！ＴＶ内「てて探検隊」を中継の上、放映のため	考古博物館	内観ほか
23	9月20日	株式会社平凡社	別冊太陽　「新・日本遺産」に掲載のため	安道寺遺跡	縄文土器1点
24	9月27日	甲斐市教育委員会	金の尾遺跡パンフレットへの掲載のため	金の尾遺跡	調査写真ほか11点
25	10月10日	株式会社六一書房	浜田晋介著『弥生文化読本』に掲載のため	酒呑場遺跡	縄文土器1点
26	10月13日	糸魚川市教育委員会	糸魚川市教育委員会発行「国石ヒスイの美(仮称)」に掲載のため	天神遺跡	翡翠製大珠1点
27	10月20日	一般財団法人放送大学教育振興会	早乙女雅弘ほか著『考古学』(放送大学印刷教材)に掲載のため	酒呑場遺跡	縄文土器・レプリカSEM写真など8点
28	10月30日	浜田紗綾子	個展「積層する魂」展示のため	塩瀬下原遺跡	縄文土器1点・3Dデータ1点
29	11月7日	株式会社クリエイティブネクサス	日本テレビ「所さんの目がテン！」の撮影にて青銅鏡の磨き方を紹介する際に使用するため	青銅鏡制作関連写真	3点
30	11月28日	株式会社新泉社	石原正敏著　シリーズ「遺跡を学ぶ」『笹山遺跡』に掲載のため	上野原遺跡	縄文土器1点
31	11月30日	株式会社山梨新報社	１月１日紙面、並びに１月５日紙面に掲載のため	甲府城跡	金箔付鯱瓦1点・複製写真1点
32	12月7日	株式会社NHKエデュケーショナル	放送大学講義「考古学」第10回にて放映のため	安道寺遺跡	縄文土器1点
33	12月14日	小川忠博	小川忠博著『縄文美術館』(平凡社刊)に掲載のため	金の尾遺跡	弥生土器集合1点
34	12月14日	株式会社NHKエデュケーショナル	放送大学講義「考古学」第10回にて放映のため	岡遺跡	容器形土偶2点
35	12月25日	出雲弥生の森博物館	ギャラリー展Ⅲ「呪う－中近世の出雲人の祈り－」にてパネル展示のため	甲府城跡	輪宝1点
36	1月8日	株式会社かんき出版	かんき出版刊『先見力の授業』に掲載のため	一の沢遺跡	縄文土器1点
37	1月9日	国立歴史民俗博物館	国立歴史民俗博物館　総合展示第１展示室にパネル展示のため	甲斐銚子塚古墳	空撮写真1点
38	1月10日	国立歴史民俗博物館	平成２９年度企画展示「世界の眼でみる古墳文化」展示パネルおよび図録掲載のため	甲斐銚子塚古墳	空撮写真1点
39	2月5日	山梨県立大学国際政策学部吉田研究室	Facebookサイト「開府500年 Switch to the Future」に掲載のため	甲府城跡	調査写真5点
40	2月8日	熊谷市教育委員会	『熊谷市史通史編上巻(原始古代中世)』に掲載のため	岡遺跡	容器形土偶2点
41	2月14日	縄文サイエンス＆アート	縄文サイエンス＆アートHPに掲載のため	一の沢遺跡	縄文土器1点
				重郎原遺跡	縄文土器1点
42	2月14日	縄文サイエンス＆アート	縄文サイエンス＆アートHPおよび勧誘パンフレットに掲載のため	一の沢遺跡	縄文土器1点
				殿林遺跡	縄文土器1点
				安道寺遺跡	縄文土器1点
				天神遺跡	縄文土器1点
				上野原遺跡	縄文土器1点
43	2月28日	熊谷市教育委員会	『熊谷市史通史編上巻(原始古代中世)』に掲載のため	過去の図録掲載図版	1点
44	3月6日	仲田道弘	山梨日日新聞社刊『日本ワイン誕生考』に掲載のため	過去の紀要掲載図版	1点
45	3月7日	かながわ考古学財団	『研究紀要２３　かながわの考古学』に掲載のため	長田口遺跡	鏡片1点
46	3月12日	財団法人山梨文化財研究所	『山梨文化財研究所所報第57号』に掲載のため	大丸山古墳	鋸1点

番号	申請日	申請者	利用目的	申請物件名	
47	3月19日	株式会社KADOKAWA	『縄文土器・土偶』に掲載のため	酒呑場遺跡	縄文土器1点
				天神遺跡	縄文土器1点
				原町農業高校前遺跡	縄文土器1点
				安道寺遺跡	縄文土器1点
48	3月19日	国立歴史民俗博物館	国立歴史民俗博物館　総合展示第1展示室に展示のため	花鳥山遺跡	縄文土器1点

古代衣装貸出し一覧

番号	貸出期間	申請者	利用目的	申請物件名	
1	5.9～平成29.6.2	県立あけぼの支援学校	学習教材として使用のため	貫頭衣	2着
				胡服	2着
				巫女服	2着
				女官服	2着
				官吏服	2着
2	2.3～平成30.2.9	県立わかば支援学校	学習教材として使用のため	貫頭衣	3着
				胡服	1着
				巫女服	2着
				女官服	2着
				官吏服	3着

名義後援

番号	申請日	申請者	利用目的
1	10月25日	積石塚・渡来人研究会	積石塚・渡来人研究会　第三回総会・記念講演会

平成 29 年度　山梨県埋蔵文化財センター　　普及事業集計表

件数	月日	学校への出前支援事業	人数	件数	月日	火起こし体験	人数	件数	月日	講座・講演など（イベント含む）	人数	件数	月日	遺物など貸出キット	人数	件数	月日	発掘体験・見学会	人数	件数	月日	インターンシップ	人数	件数	月日	県指定史跡甲府城跡関連	人数
1	5月10日	中央高校（勾玉作り）	112	1	5月22日	長坂小学校（火起こし体験・勾玉作り）	68	1	3月11日～4月9日	山梨の遺跡発掘展 2017（4月）	398	1	4月6日	須玉小学校（貸出キット・石器類・銅鏡）	128	1	6月24日	甲府城下町遺跡見学会	88	1	7月6日	竜王中	2	1	4月7日～16日	甲府城鉄門展示	1,433
2	6月20日	あけぼの支援学校（粘土練り）	6					2	4月24日	遺跡発掘展巡回パネル展（甲府市）	1,200	2	5月9日	あけぼの支援学校（縄文土器３点）	18	2	7月8日	発掘体験セミナー	17	2	7月26日	玉穂中	3	2	4月9日	甲州寺子屋	42
3	6月27日	あけぼの支援学校（土鈴成形）	6					3	12月18日	遺跡発掘展巡回パネル展（山梨市）	300	3	5月19日	山梨学院大学（貸出キット）	20	3	7月8日	発掘体験セミナー	19	3	8月3日	城南中	3	3	5月30日	甲府城見学案内　白州中	5
4	7月11日	あけぼの支援学校（土鈴焼成）	6					4	11月1日	遺跡発掘展巡回パネル展（甲斐黄金村・湯之奥金山博物館）	1,337	4	5月22日	山梨学院大学（貸出キット）	20	4	9月9日	酒呑場遺跡第５次調査遺跡見学会 午前	14	4	8月4日	笛南中	4	4	7月29日	名城見学会「甲府城跡」	20
5	6月6日	田富南小学校（粘土練り）	21					5	5月3･4日	風土記の丘こどもまつり	349	5	5月25日	あけぼの支援学校（火起こし道具）	6	5		午後	11	5	8月9日	上条中	1	5	8月11日	小江戸甲府の夏祭り（石垣つめる君）	210
6	6月21日	田富南小学校（土器成形）	21					6	5月21日	縄文問答『なるほど！考古博』(中山)	13	6	6月5日	白根御巨摩中（南アルプス市）縄文土器１点弥生土器２点貸出キット⑤	114	6				6	8月16･18日	山梨英和大学	2	6		小江戸甲府の夏祭り（弓矢体験）	418
7	7月19日	田富南小学校（土器焼成）	21					7	6月3日	考古学講座「石材の獲得・流通・使用－旧石器・縄文の生活と石－」（柴田）	48	7	6月9日	上条中学校（貸出キット）	107	7								7		小江戸甲府の夏祭り（石垣探検）	52
8	6月28日	高根西小学校（土器成形）	23					8	6月13日	山梨ことぶき勤学院　甲府教室　（熊谷）	53	8	6月12日	韮崎西中学校（縄文土器２点弥生土器１点高坏１点）	108	8								8	10月6日	甲府城見学案内　全国石屋組合	11
9	7月18日	高根西小学校（土器焼成）	21					9	7月15日	考古学講座「山梨の石室と積石塚」（熊谷）	45	9	6月23日	山梨大学教育学部附属中学校（打製石器・磨製石器・縄文土器・弥生土器・・・各１点）	160	9								9	10月14日	ふるさと再発見ツアー（石神）	80
10	6月29日	須玉小学校（土器成形）	32					10	7月15日	富士の国やまなしフェア（見学）	170	10	6月30日	甲府支援学校(縄文土器･弥生土器･鏃)	2	10								10	10月20日～29日	甲府映画祭（パネル展示・石垣つめる君）	287
11	7月12日	須玉小学校（土器焼成）	32					11		富士の国やまなしフェア（拓本）	36	11	8月8日	めだかの学校ジュニア（舞ぎり式火起こしセット４点）	5									11	11月5日	ひらけ！玉手箱２０１７	5,925
12	7月18日	甲府支援学校（拓本体験）	2					12		富士の国やまなしフェア（クイズ合戦）	27	12	8月18日	山梨学院大学（貸出キット⑤）	4									12	2月25日	山梨近代人物館教育普及講座 埋蔵文化財センターの職員と行く「お城ウォーキング」（上野）	30
13	2月1日	富竹中学校（近隣遺跡の話）	76					13	7月16日	富士の国やまなしフェア（見学）	406	13	10月25日	やまびこ支援学校（弓切り式、もみぎり式火起こしセット）	15												
								14		富士の国やまなしフェア（拓本）	34	14	11月27日	すみよし愛児園（火起こし道具２セット）	12												
								15		富士の国やまなしフェア（クイズ合戦）	23	15															
								16	7月29日	「火炎土器と水煙土器にみる縄文人の交流」（今福）	50	16															
								17	7月29日	「え～お汁粉を食べた縄文人？！-最新研究から見えてきた縄文時代の植物食-」（中山）	20																
								18	8月5日	ワークショップ１回目「みつけよう！土器に残る植物のタネ」（中山）	47																
								19	8月6日	ワークショップ２回目「みつけよう！土器に残る植物のタネ」（中山）	40																
								20	8月17日	古代を実体験！「先生のための文化財活用講座」	7																
								21	9月3日	縄文問答『なるほど！考古博』（今福）	19																
								22	10月1日	アビリンピック２０１７（ポリテクノセンター山梨主催）（石垣つめる君）	15																
								23	10月3日	山梨ことぶき勤学院　北都留教室　（上野）	16																
								24	10月14日	金の尾遺跡 40 周年シンポジウム（中山）	103																
								25	10月14日	「縄文土器文様にみる物語の世界」（今福）	75																
								26	10月21日	Jomo n FES ２０１７（拓本）	16																
								27	10月21日	Jomo n FES ２０１７縄文トーク「縄文土器を見る楽しみ」（今福）	20																
								28	10月28日	上半期遺跡調査発表会	65																
								29	11月20日	県民の日イベント「古墳でマツリ」	38																
								30	11月23日	落ち葉で焼きいも（石神、依田、小池）	400																
								31	11月26日	下山文化財散策会（保坂、石神、柴田）	27																
								32	12月5日	市町村埋蔵文化財発掘担当者研修会	37																
								33	2月17･18日	埋文シンポジウム「縄文時代の植物利用・管理・栽培を考える」	177																
								34	3月6日	得々三文会「解き明かされる甲府城の歴史－発掘から甲府のまちを考える－」（柴田）	47																
								35	3月10日	下半期遺跡調査発表会	100																
								36	3月10日～4月8日	山梨の遺跡発掘展 2018（3月）	519																
13			379	1			68	28			5,879	14			719	4			149	6			15	10			8,513
										人数総計	15,722																

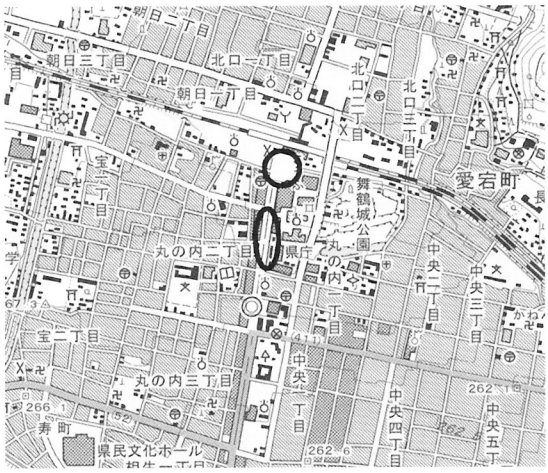
件数総数　76 件

第Ⅱ章　各遺跡の発掘調査等概要

1　記録保存のための発掘調査

1―1　甲府城下町遺跡（甲府駅南口周辺地域修景計画）

所 在 地　山梨県甲府市丸の内一丁目1-9他
事 業 名　甲府駅南口周辺地域修景計画
調査期間　2017年4月1日～2018年3月31日
担 当 者　中山誠二・高野玄明・今福利恵・保坂和博・浅川一郎・石神孝子・依田幸浩・柴田亮平・上野桜・米田明訓・小池準一・末木　健・古屋ひろみ



遺跡位置図

県土整備部が行う甲府駅南口周辺地域修景計画（以下「修景計画」）に基づいて、今年度も県土整備部都市計画課、中北建設事務所、学術文化財課、埋蔵文化財センターの協議の上、修景計画における甲府駅南口駅前広場の再整備や県道甲府韮崎線（平和通り）に伴う工事で影響を受ける周知の埋蔵文化財包蔵地「甲府城跡」「甲府城下町遺跡」の立会調査を行うこととなった。

甲府城は、独立丘陵である一条小山に築かれた近世城郭であり、その周囲に形成された甲府城下町遺跡は、甲府市街地の西方を南から北に流れる相川が形成した扇状地上に位置する。調査地点は、その中でも甲府城跡の西側にあたり、「一の堀」とその脇の道、「一の堀」「二の堀」に挟まれた武家屋敷地などに該当する。武家屋敷地の中でも甲府駅南口付近においては、柳沢吉保の公用日記『楽只堂年録』の所収の絵図に甲府城主柳沢吉保の筆頭家老柳沢権太夫保格の屋敷が描かれている。

本年度は107日間の立会調査を行った。この内、夜間立会は28日間である。立会調査を行った箇所については、別表のとおりである。記録保存等を行った箇所について、地点毎に結果を記載していく。

（Ⅰ甲府駅南口・Ⅱ平和通り東側・Ⅵ三井住友信託銀行前・Ⅵ平和通りより西側の通り）

立会調査をおこなった全ての箇所で、埋蔵文化財の保護措置は不要であった。

（Ⅲ中央分離帯）

神津薬局前付近で、東側に落ち込む堀状の遺構を確認した。遺構確認面は路盤より深さ0.7m付近であり、深さ1mまで掘り下げたが、底は確認できなかった。このため工事を中断して、写真撮影を行い、位置などを記録して保存を行った。この地点より少し北のたちばな児童公園前交差点においても、同様の落ち込みを確認しており、南北に堀状の遺構が延びていた可能性も考えられる（Ⅴ平和通り横断部参照）。この付近は絵図によると「一の堀」が通っており、今後も掘削工事が行われる場合は、調査が必要であると考えられる。

また防災新館前交差点の北側では、矢穴のある石が出土した。すでに原位置を保っていなかったため、写真撮影を行い、模式図を書いて記録保存を行った。その後、出土地点に埋設保存した。

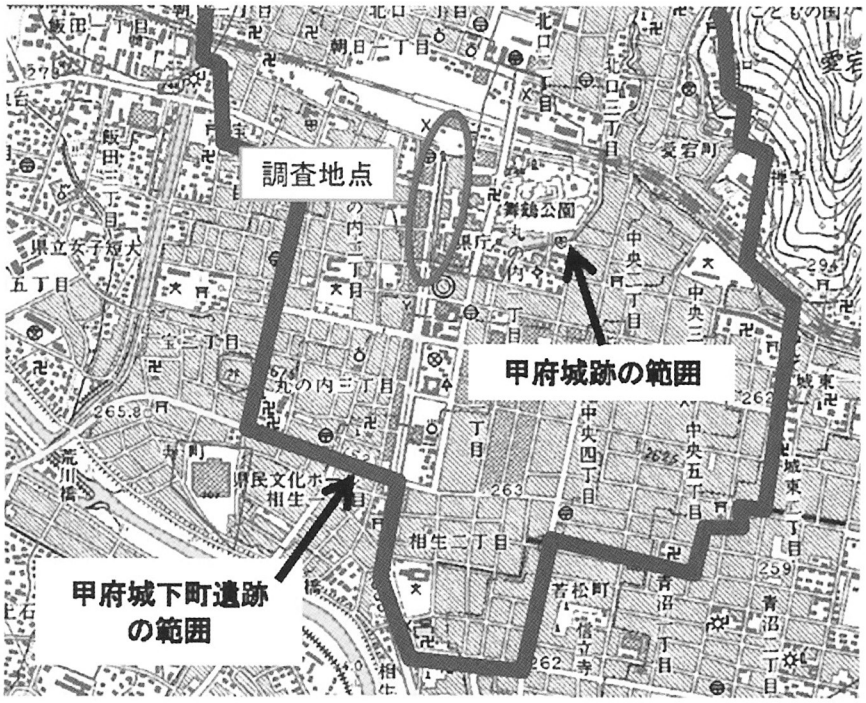
（Ⅳ平和通り西側）

神津薬局の北側で瓦溜まりを確認した。遺構確認面は1.4m付近であり、約1mの範囲から瓦片が固まって出土した。このため工事を中断して、写真撮影を行い、位置などを記録して保存を行った。

（Ⅴ平和通り横断部）

たちばな児童公園前交差点において、東側に落ち込む堀状の遺構を確認した。遺構確認面は路盤より深さ0.7m付近であり、深さ1.4mまで掘り下げたが、底は確認できなかった。このため工事を中断して、写真撮影を行い、位置などを記録して保存を行った。この付近は絵図によると「一の堀」が通っており、今後も掘削工事が行われる場合は、調査が必要であると考えられる。

来年度も引き続き、甲府駅南口周辺地域修景計画に伴う県道甲府韮崎線（平和通り）の整備等が予定されており、調査により埋蔵文化財の保護措置の必要性を確認する事になる。

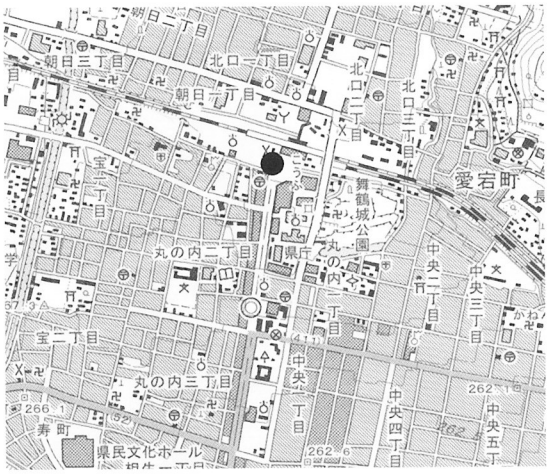


調査地位置図１

調査地位置図２

1—2　甲府城下町遺跡（水景地点）

所 在 地　甲府市丸の内一丁目1－9（信玄公像前）
事 業 名　甲府駅南口周辺地域修景計画
調査期間　2017年4月10日～27日
調査面積　約20㎡
担 当 者　浅川一郎・上野桜・小池準一



遺跡位置図

県土整備部が行う甲府駅南口周辺地域修景計画（以下「修景計画」）に基づいて、今年度も県土整備部都市計画課、中北建設事務所、学術文化財課、埋蔵文化財センターの協議の上、修景計画における甲府駅南口駅前広場の再整備や県道甲府韮崎線（平和通り）に伴う工事で影響を受ける周知の埋蔵文化財包蔵地「甲府城跡」「甲府城下町遺跡」の立会調査を行うこととなった。

甲府城は、独立丘陵である一条小山に築かれた近世城郭であり、その周囲に形成された甲府城下町遺跡は、甲府市街地の西方を南から北に流れる相川が形成した扇状地上に位置する。調査地点は、その中でも甲府城跡の西側にあたり、「一の堀」とその脇の道、「一の堀」「二の堀」に挟まれた武家屋敷地などに該当する。武家屋敷地の中でも甲府駅南口付近においては、柳沢吉保の公用日記『楽只堂年録』の所収の絵図に甲府城主柳沢吉保の筆頭家老柳沢権太夫保格の屋敷が描かれている。

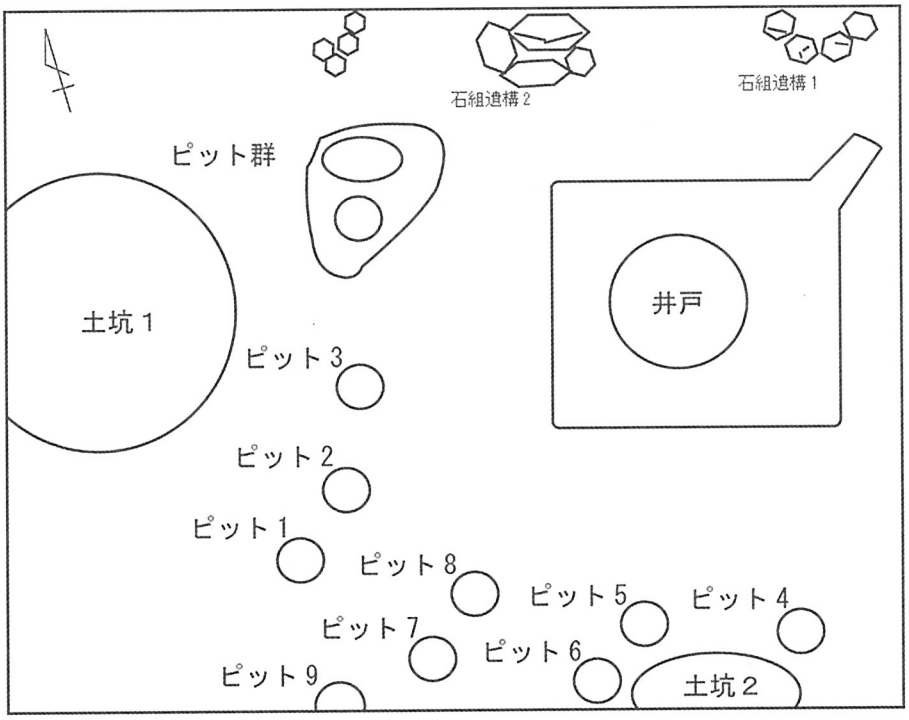
修景計画に伴い、甲府駅南口駅前広場西の信玄公像広場に水景施設の地下機械室が設置されることとなった。このため、2017年3月に立会調査を実施した結果、調査対象地において江戸時代の遺構・遺物が確認された。このことを受け、本調査を行うこととなった。

調査区の規模は、事前に四方に打たれた矢板内の範囲（東西約5.6ｍ、南北約4.4ｍ）、約20㎡である。

重機による表土剥ぎを立会調査での確認面まで行った。その後、人力による掘削、精査をしながら、適宜、測量、写真撮影や測量等の記録作業を実施した。なお、調査後の埋め戻しは不要であった。

調査の結果、江戸時代の生活面を１面確認した。遺構は、井戸1基、土坑2基、ピット９基、石組遺構2基等が検出された。井戸は素掘りであり、形状は上部の平面形は１辺約1.1ｍの方形で、0.75ｍほど下がったところよりも下位で円筒状（直径約0.75m）になっている。石組遺構１は土坑の上部外周に約0.15m の礫が円形状に配置されていた。石組遺構２は下部に２本の杭が打ち込まれ、杭の周囲から上部に0.2m 前後の複数の礫が積まれていた。土坑１は規模、直径1.2m、深さ0.6m であり、大量の焼土を含んでいた。ピット３は直径約0.2m の楕円体状の礫が縦に埋められ、礫の周囲と下には小礫が多数詰められていた。遺物は瓦、かわらけ、陶器等が出土している。

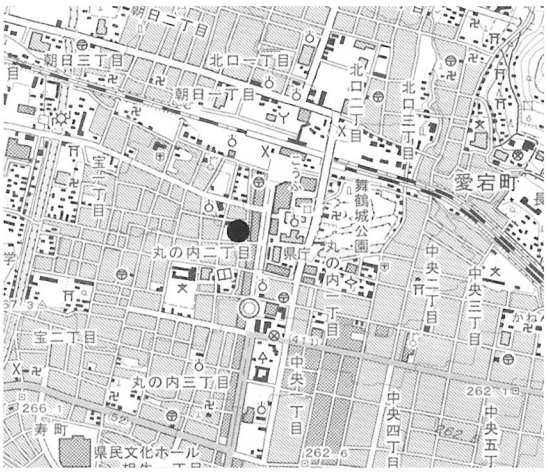
発掘調査終了後、2018年2月から3月まで基礎的整理作業を実施して、遺物の水洗作業、調査現場で記録してきた図面、写真などの整理を行った。



調査区概略図

1—3　甲府城下町遺跡（公用車等駐車場地点）

所 在 地　甲府市丸の内二丁目17-6
事 業 名　公用車等駐車場整備事業
調査期間　2017年5月1日～7月21日
調査面積　約940㎡
担 当 者　柴田亮平・末木　健



遺跡位置図

甲府城下町遺跡は相川が形成した扇状地上に位置する。調査地点は甲府城が築かれた独立丘陵である一条小山の西麓に位置しており、南西方向に向かって傾斜している。当該地は甲府城下町遺跡の中でも武家地にあたり、近世以降、連続的に土地利用がされた箇所である。柳沢期以降の絵図では「御蔵」「御米蔵」などと記されている。明治期には監獄所が置かれ、大正期には私立病院へと変遷する。

今回の調査では遺構面を複数確認した。明確に分離できたのは2面だが、その中でも切り合い関係が認められ、時期差があることが明らかになった。遺構としては、石組みの集水枡1箇所（それに繋がる石組みの溝2条）、暗渠1条、石垣2箇所、盛土遺構1箇所、溝3条、土坑2基、ピット2箇所が検出された。

調査区の北側、東側はかく乱が激しく、ほとんど遺構が残っていなかった。一方で南西側では、複数の遺構が特に集中していた。この地点で最も古い遺構である集水枡は東西1.6m、南北1.2m、深さ1.1mであり、布積みで最低3段の石が積まれている。北側から石組みの溝が繋がり、ここを通って水が枡に溜められ、一定量を超えると西側に付けられた石組みの溝へ抜けていく構造である。西側の溝は調査区外まで続いており、その先は不明だが、すぐ西側には「二の堀」に繋がっていたと推測される。ただし、枡の南側に埋められた水路が確認でき、西側の水路は後から繋げられている。当初は南側へ水が抜けていたと考えられ、この段階でも改修が行われている。

その後、集水枡の北側の溝を壊して造られているのが、石組みの暗渠である。北東から南西方向へ伸びており、長さ7.0m、幅0.3m、深さ0.4mである。水の流れる先である南西方向は、おそらくは「二の堀」に繋がっていたと考えられる。暗渠の西側の上層には盛土遺構があり、暗渠も西側にのみ石の蓋が被さっている。盛土遺構とは一体の構造物であり、地下を通って水を流していたと推測される。

調査区の南西側は、この一帯で最も地形が低くなっており、水が集まる場所である。そのため、ここで排水を行っていたと考えられ、時期によってその形を変えていたことがうかがえる。

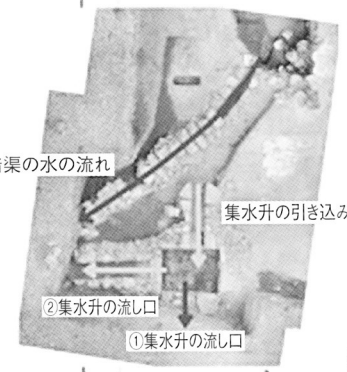
集水枡と暗渠は非常に良好な形で残存しており、甲府城下町の町づくりを考える上で非常に重要であるため、事業者（財産管理課）・学術文化財課と協議を重ねた結果、事業者が駐車場の工法を変更して、これらの遺構の埋設保存を行うこととなった。これらは三次元測量を委託して、記録作業を行ったのち、白砂にて埋め戻しを行い、その上層には埋設シートを設置して保護した。埋設保存した集水枡と暗渠について、事業者により遺構の案内看板を設置することとなった。

遺物は、瓦片、陶器片、かわらけ片等や、下駄や箸、杭などの木製品や釘などの金属製品が出土した。かく乱からの出土も多く、近代に帰属する資料も多く見られた。

今回の調査では、建物の影響を受けていない箇所は、遺構が良好に残存していた。遺構が切り合っている箇所もあり、その変遷も明らかになった。また江戸時代の水に関わる遺構が多く見つかり、区画内で水を処理していたことや、地形に沿って排水を行っていたことなど、江戸時代の町づくりの一端が明らかになった。当地域の歴史を考える上で貴重な発見であったと考えられる。

発掘調査の成果について、基礎的整理作業を2018年1月9日から3月16日まで実施した。遺物の水洗作業から開始し、注記作業、接合作業を実施した。また、調査現場で記録してきた図面、写真、光波測量データの整理を実施した。

平成29年度　甲府城下町遺跡（公用車等駐車場地点）



集水升（水路）、暗渠の水の動き（時期順）

「獄」茶碗（明治期の監獄のものか?）

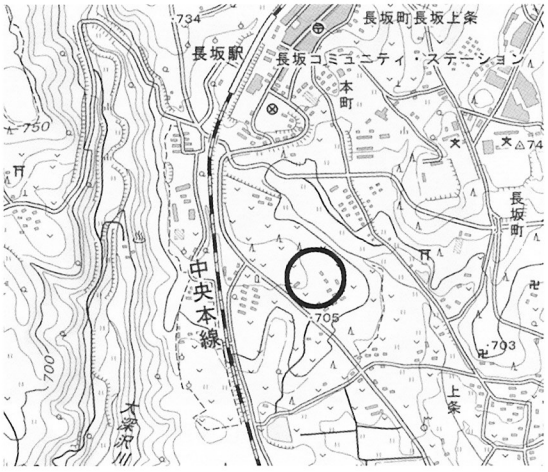
東側石垣と平行する4号溝

集水升（水路）より新しい西側石垣

集水升（水路）と暗渠

1—4　酒呑場遺跡（第５次調査）

所 在 地　北杜市長坂町長坂上条621-2
事 業 名　畜産酪農技術センター長坂支所施設等整備事業
調査期間　2017年月5月9日～9月22日、
　　2017年10月17日～2018年3月2日（追加調査）
調査面積　約474㎡
担 当 者　熊谷晋祐・浅川一郎



遺跡位置図

酒呑場遺跡は八ヶ岳南麓の小丘陵上に位置している。当遺跡は、旧酪農試験場の施設増改築に伴い、1994年度から1996年度に第1次～第3次調査、2001年度に第4次調査、また旧長坂町が1995年度に調査を実施しており、縄文時代前期～中期の大集落遺跡であることが分かっている。これまでの調査では約10,400㎡が調査されており、竪穴住居跡数は220軒を数え、出土した遺物の一部は、2013年度に国の重要文化財に指定されている。また、酒呑場遺跡の南側斜面端部には縄文時代後期を中心とした長坂上条遺跡があり、当遺跡から連続して集落が形成される。

今回の調査地点は、第1次～第4次調査区から南西に少し離れた地点に位置している。調査区は地表下から深さ50cmほどまで耕作土や埋め土によって撹乱されていたものの、遺物包含層は良好なところで20～30cmほど残存していた。遺構は包含層上面においても判別出来るものがあり、それらは随時調査していくこととした。なお遺物包含層を掘りきると地山のローム層となる。

調査面積は本調査期間に実施した範囲が約444㎡で、外構工事に係る追加調査時に約30㎡調査している。調査では縄文時代の竪穴住居跡12軒、土坑89基、集石遺構1基が確認された。竪穴住居跡のうち、11軒が縄文時代中期後葉の曽利式期、1軒が縄文時代前期後半の諸磯式期である。さらに、このうち曽利式期の1軒は3回ほど上屋の建替を行っている。今回の調査区の東側にある第1次調査のA区やB区でも、同時期の遺構が確認されており、環状の集落の広がりを想定することができるようになった。

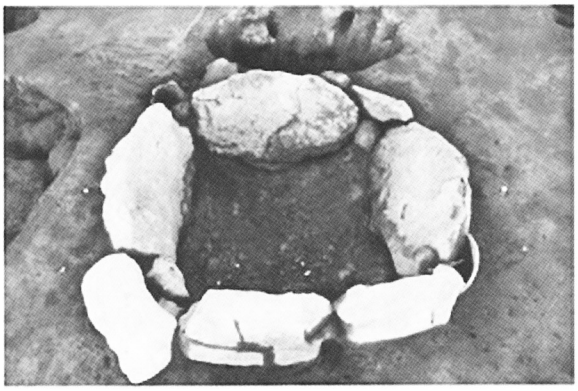
住居跡には、縄文時代中期後葉に特徴的な、大型の石囲炉をもつものが5例ある。炉の隅に小型の土器を配置するものが2軒の住居跡で発見されており貴重な事例である。また別の住居跡では、石棒状の細長い凹み石を、炉石の手前側両隅に立てて使用していた。また住居内において土器を埋設した遺構も6基確認された。中には大型の深鉢を逆位穿孔で埋設する、いわゆる埋甕が1基みられた。

土坑も同じく縄文時代前期～中期のものが中心だが、縄文時代前期後半のものが優勢である。土坑には、土器の破片とともに、石製装飾品が2点出土した、土坑墓と考えられるものもある。また、埋納された土器の口縁部とともに、円礫が140点ほどまとまって出土したものや、遺物がプラスチック箱にて3箱分出土した大型の土坑もある。他に、ほぼ完形となる縄文時代中期の深鉢が3個体埋納される土坑もみられた。

遺構の多くは研究棟建設予定地点から検出されたが、外構工事予定地点（外構B区～外構E区）においても土坑や住居跡を確認することができた。外構工事地点は、幅1mほどのトレンチ状の調査区であるものの、4軒の住居跡が確認された。外構B区地点で検出された縄文時代前期後半の竪穴住居跡からは、黒曜石の製品や破片が多く出土した。外構C区地点についても柱穴状の土坑が確認されたため、住居跡が存在していた可能性がある。

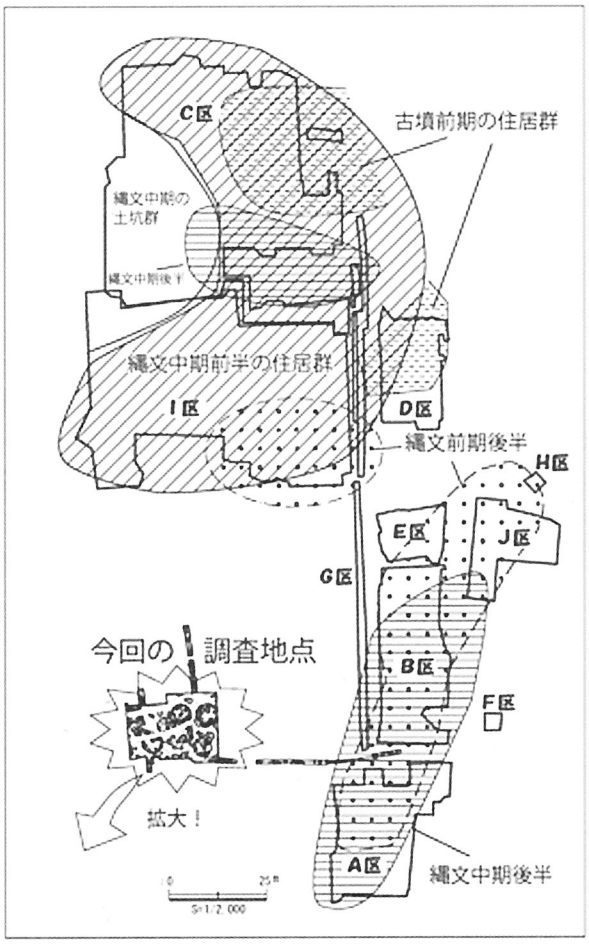
希少遺物として、土偶が2個体破片で見つかっており、ミニチュア土器も出土している。ドーム形の水煙把手をもつ縄文土器や、精巧なつくりの石器・石製品なども出土している。

2017年10月23日から2018年3月30日まで遺物の洗浄・注記・接合、遺構図面の整理（デジタルトレース等）や写真整理等の基礎的整理作業をおこなった。また、自然化学分析、石器の実測・トレース、デジタル技術による平面図化作業を委託した。平成30年度は本格的整理作業、調査報告書を作成・刊行する予定である。

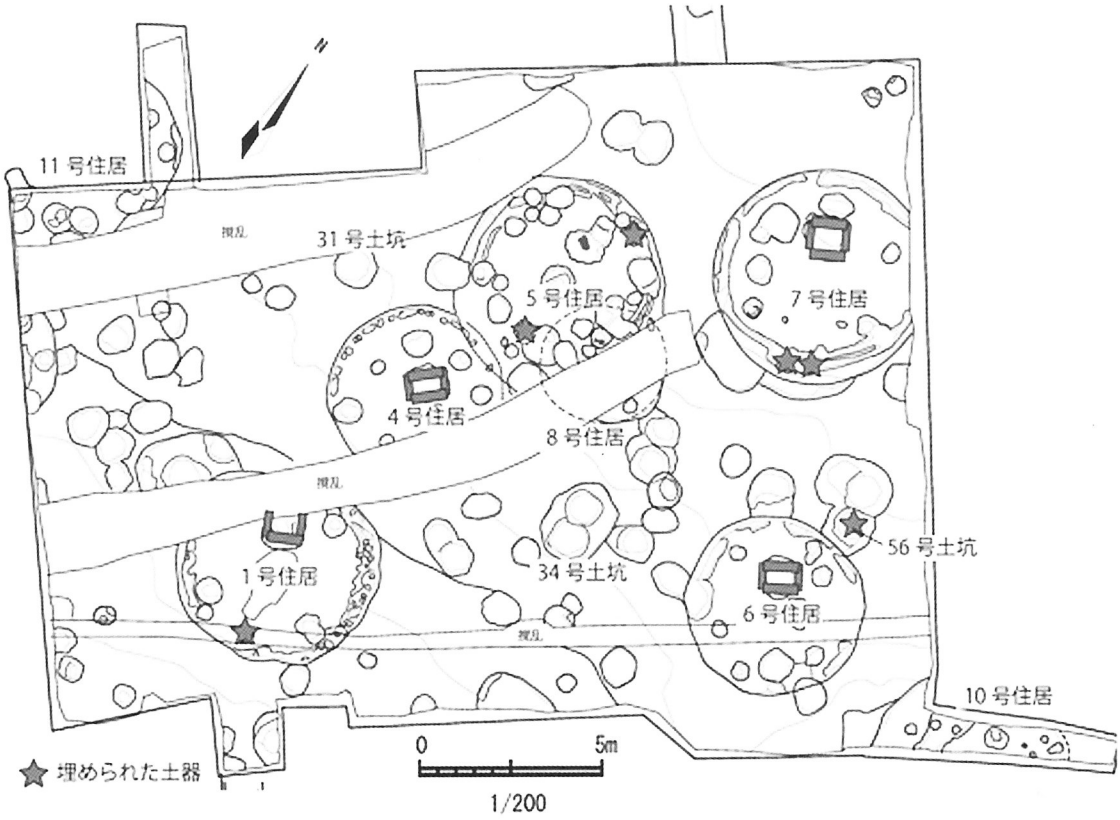


7号住居跡石囲炉

56号土坑　土器出土状況



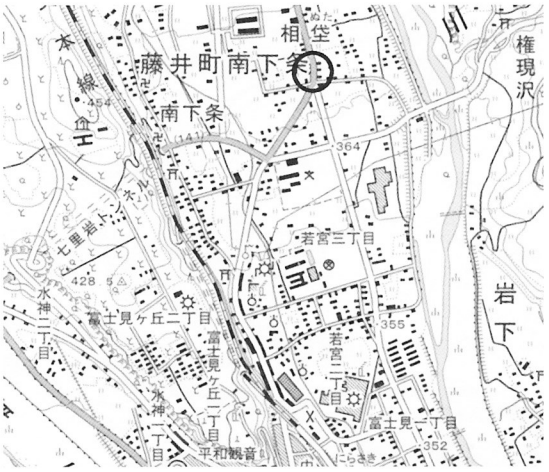
第１図　酒呑場遺跡の集落展開



第２図　第５次調査地点　遺構分布図［部分］

1—5　枇杷塚遺跡・相垈墨址

所 在 地　　韮崎市藤井町北下條字枇杷塚1399-1外
事 業 名　　国道141号相垈交差点改良工事
調査期間　　2017年月6月1日～9月1日調査面積　約474㎡
調査面積　　約740㎡
担 当 者　　吉岡 弘樹・高左右 裕・山本 茂樹



遺跡位置図

今回の事業は、国道141号相垈交差点の拡張工事に伴うものであることから、交差点周辺に調査区を合計6ヶ所設定して調査を実施した。

また、調査地が国道の交差点際であるため、安全面を考慮し調査区と国道歩道の間に安全フェンスを設置すると共に理髪店駐車場入り口部分付近（3・4区）の調査では、駐車場利用者の案内として警備員を配置するなど、常に安全に努めた。

1区は、平成7年に韮崎市教育委員会が調査した地点に接しており、当時の調査では、暗褐色土層より古墳時代中期の竪穴住居跡や土坑が確認されている。今回は、溝状遺構2条、土坑・柱穴63基を確認した。遺構はすべて表土直下約1ｍの締まりのある暗赤褐色土層を掘り込んでいた。

2区の北側では石囲いの井戸を検出した。この井戸跡の中からは石臼片やガラス片が混入されていたことなどから近現代の所産であると考えられる。また、南側では土坑が多数検出されており、その中の23号土坑からは炭化層が確認され、埋土中からは土器片が数点出土している。

3区においては、試掘調査時に確認されている表土直下約110ｍの黒色土層中から竪穴住居跡2軒、小竪穴状遺構1基、溝状遺構1条、土坑9基の遺構や多量の遺物が確認された。竪穴住居跡は調査区西端に僅かに壁がかかるように確認され、かつ重なり合っていたため、共に住居の東側のプランを確認したにとどまった。なお、それらの住居跡からはカマド等は確認できず、遺物も出土しなかったため詳細な時期の比定はできなかった。さらに、小竪穴状遺構も1基確認している。その他にも、調査区北東隅からは北から東へとＬ字状に直角に折れ、東壁方向に続く溝状遺構が検出された。その覆土からは土師器片が発見されており、古墳時代以降のものと考えられる。黒褐色土層下からは柱穴が4基確認されたのみであり、遺物の出土も無かった。

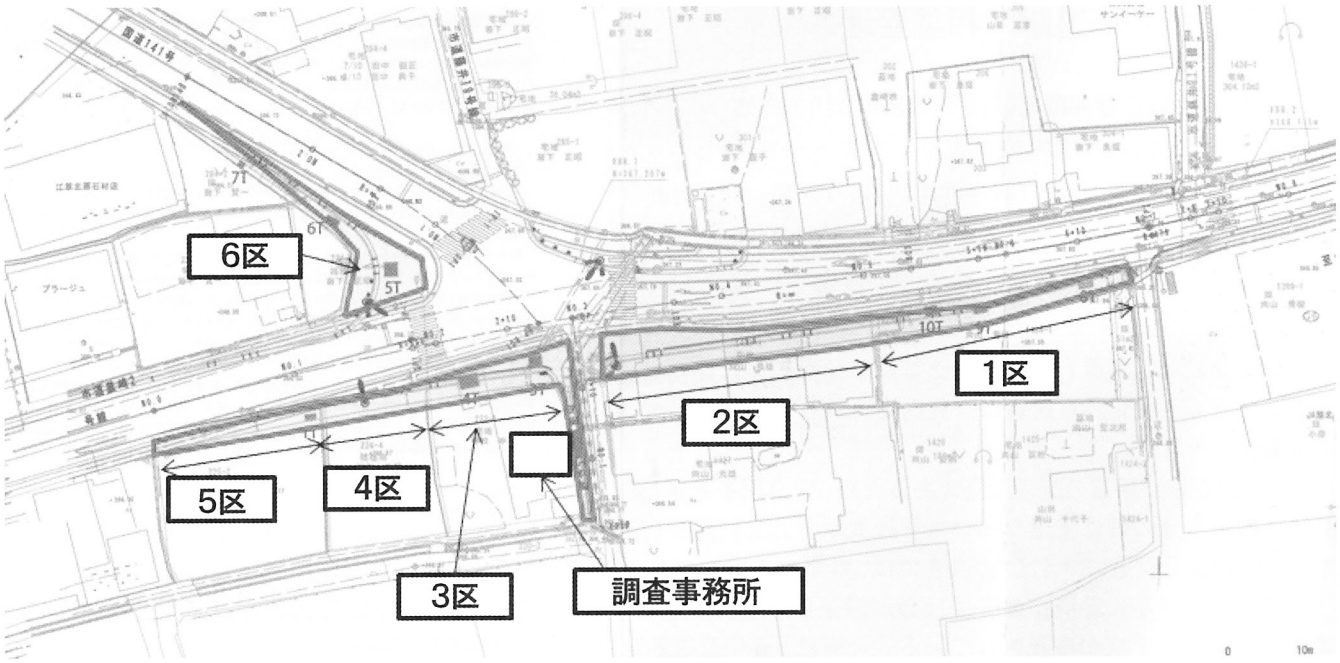
4区では柱穴が4基検出したのみで他区の柱穴と比べても小型かつ浅く、遺物も出土しなかった。

5区においては、遺構は確認できなく遺物の出土も無かった。

6区は、国道を挟み3区の対面にあたる位置にある。調査区西端から表面直下約1ｍの暗茶褐色土層中から浅い溝状遺構が1条、その層位から約50ｃｍ下げた黒褐色土層から土坑3基、柱穴2基を検出した。溝状遺構は調査区西隅にかかる形で確認され、南東から北西にかけて延びている。なお溝状遺構の埋土中からは土師器片が1点確認された。

遺物は20点ほど出土した。その大半は土師器片であり、それ以外では調査区西壁から近世とみられるカワラケの底部が出土している。

今回の調査は道路に沿って、狭い調査区を設定し掘削したことなどから、遺構・遺物の検出は少なかった。しかし、埋蔵文化財包蔵地の縁辺部であり、調査区西側隅において遺構や遺物が確認された6区と、遺構・遺物をまったく確認できなかった5区などから包蔵地の南側縁辺部が詳細に判明した。これらのことからも、古墳時代は当地域において居住の痕跡が推測できるものである。1区、2区では中世の館跡である相垈墨址の範囲に含まれていることからも、他調査区と比べて中近世の遺物の比率が多かった。狭い範囲の調査でありながら遺構・遺物が検出されたことは、古くから諏訪方面や清里方面に分岐する地点となる当地区の歴史を考究するうえで貴重な発見であったと言える。



調査位置図

調査前の状況（第１・２区）

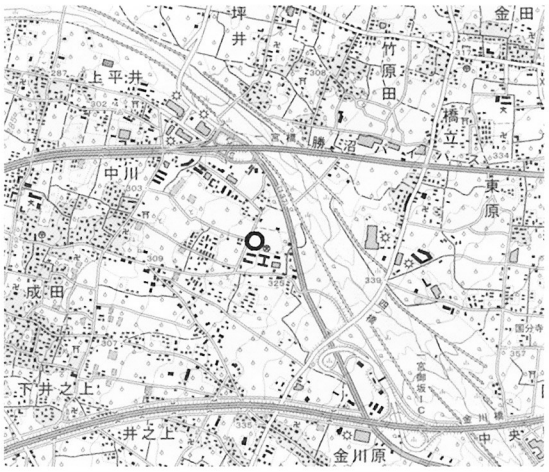
第１区遺物出土状況①

第１区遺物出土状況②

第３区完掘状況

1—6　狐原遺跡

所 在 地　笛吹市石和町中川1400
事 業 名　山梨県立高等支援学校桃花台学園浄化槽改修工事
調査期間　2018年1月30日～2月27日
調査面積　約78㎡
担 当 者　吉岡 弘樹・高左右 裕



遺跡位置図

周知の埋蔵文化財包蔵地である狐原遺跡は、平成8年に県立旧園芸高校の農耕用車教習所建設工事により発掘調査を実施し約8,000㎡の広域な発掘調査が行われ、平安時代の集落跡が検出されると共に400点を超す大量の墨書土器が出土するなどの成果をあげている。

県立高等支援学校桃花台学園（以下、桃花台学園）の浄化槽は、現在、道路を挟んだ西側に設置されており、これをグラウンド内南西隅の倉庫前に場所を移し、浸透桝を付属して埋設する事業である。埋設位置は周知の埋蔵文化財包蔵地である狐原遺跡に含まれており、掘削深度はGL-3.2m以上に達することから、当該地において埋蔵文化財が確認される可能性が考えられた。よって、試掘調査等の埋蔵文化財保護の対応が必要となるため、2017年11月8・9日の2日間で試掘調査を行い、その結果、埋蔵文化財が確認されたため、2018年1月29日から2月28日までの約1ヶ月間の予定で発掘調査を行うこととなった。

調査は、78㎡と狭くかつ深度も深いため安全対策として法面の全面に80%の勾配を付けて掘削をした。また、調査位置は桃花台学園グラウンドの南西隅に位置し、桃花台学園や笛吹高校の生徒がグラウンドを使用することなどからAバリケードを設置するなど安全確保についても充分な対策を施した。

今回の事業は、浄化槽等の敷設に伴うものであることから、高深度の掘削が予定されているため、法面崩落に注意しつつ、ブレーカーを用いてコンクリート基礎の破砕を行った後に試掘調査で得られたデータと平成8年度に調査された成果を基に、重機と人力の掘削を併用し発掘調査を実施した。その後、土層の堆積状況の確認や平板測量等による遺構・遺物等の記録作業を行った。

調査の結果、第5層より第8層に跨がり、平安期の竪穴式住居跡1軒、柱穴10基を検出した。

また、竪穴式住居跡の北側に長さ1.6m程の小竪穴状遺構が検出されている。覆土には大小の円礫が全体に充填されている状況から、遺構としての認定には、やや疑問が残るものである。

その他、検出された遺構としては土坑が10基があり、それぞれ直径30～50cm、深度約30～40cmの規模を有するものである。これらの遺構からは、時代を決定付ける遺物の出土は無かった。

今回の調査は78㎡と、狭い調査区を設定し掘削したことなどから、遺構・遺物の検出は少なかった。しかし、狐原遺跡の埋蔵文化財包蔵地の内側であり、調査区西側において平安期の竪穴式住居跡の一部や土坑・柱穴が確認されたことにより、狭い範囲でありながら遺構・遺物が検出されたことは当地域の歴史を考究するうえで貴重な発見であったと言える。

調査区完掘状況

調査前の状況

重機による掘削事業

ブレーカーによる基礎解体風景

調査状況

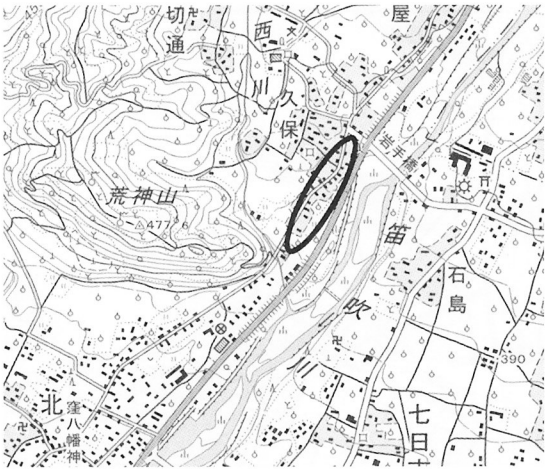
小竪穴状遺構完掘状況

第１・２・１０号 PIT 検出状況

調査風景

1—7　中島遺跡・下河原遺跡

所 在 地　山梨市東地内
事 業 名　国道140号（西関東連絡自動車道）建設事業
調査期間　2017年7月25日～9月8日
調査面積　中島遺跡　約540㎡・下河原遺跡　約770㎡
担 当 者　笠原みゆき・井上彰雄・塩谷風季・長田隆志



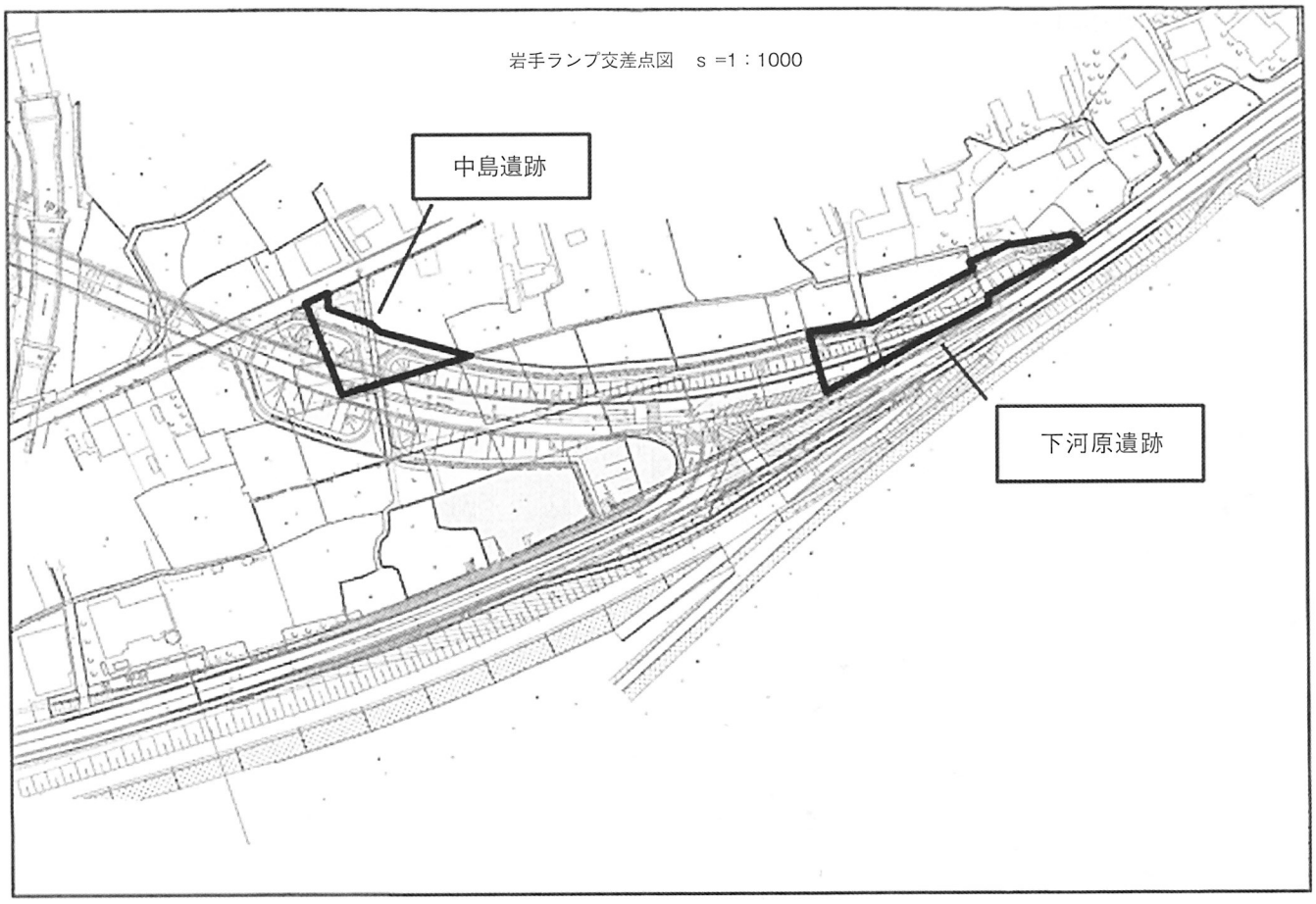
遺跡位置図

中島遺跡と下河原遺跡は山梨市東地内に所在し、市域を流れる笛吹川と西川に形成された谷底平野に位置している。

両遺跡の調査は、国道140号（西関東連絡自動車道）の建設に伴い実施された。調査に先立つ試掘調査は、昨年度から行われ、若干の陶磁器が発見されるも遺構等は確認できなかった。今年度は、昨年度からの継続事業となり、曳家作業を行う橋脚部分（中島遺跡）と、収用手続きをする本線部分（下河原遺跡）の２カ所が残っていた。工事の優先順位は橋脚部分であり、曳家完了後の４月19日・20日に試掘調査を行った。この調査において、摩耗の少ない平安時代の土師器が多量に出土したため、中島遺跡について発掘調査が必要との判断をした。また、5月16日から22日に行った本線部分の試掘において、中島遺跡の調査範囲を確定することと、下河原遺跡の堤防跡の有無を確認することを目的に調査を行った。その結果、下河原遺跡内においても、堤防の石積みの一部が確認され、中島遺跡と同様、発掘調査の必要があると判断し、本調査の実施について協議を行った。発掘調査は表土剥ぎを含め7月25日～9月8日で、2遺跡同時に調査を行った。

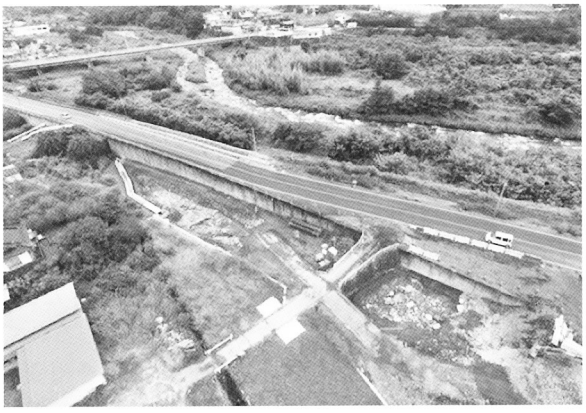
調査の結果、中島遺跡では器形から9世紀前半ころのものと考えられる平安時代の遺物が多く発見された。遺物の多くは土師器坏と甕の破片であった。本来、遺跡の存在する場所は笛吹川の氾濫源であり、遺物包含層の下層からは大きな礫が重なるように検出された。この大きな礫が堆積する砂礫層の直上に20cm～50cmの遺物包含層が存在している。遺物は、調査区全体から出土するが、調査区の北側・西側・東側にまとまって出土する傾向がある。また、大きな礫の周辺に土師器が集中して出土する様子も伺えた。住居跡のような明確な遺構は検出されなかったが、流れ込みのように、土器の割れ口が摩耗している様子は無く、破片としても大きめのものも多い。その反面、細かく破損した状況で、大礫の下へ砂と一緒に潜り込んでいる状態も見て取れた。しかし、住居跡のような明確な遺構は確認できず遺跡の性格が不明瞭だが、遺物だけが出土するような出土状況については、今後、精査する必要がある。

下河原遺跡では、笛吹川の本堤に隣接して作られていた横堤・前堤・羽衣堤と思われる堤防跡の基礎になる石積みが発見された。これらは、河川に向かって直角あるいは斜めに設けられた堤で、川の流速を減速させ、耕地を保護するための堤であり、これを「出し」または、「石積出し」と呼んでいる。類似する例として、万力公園の中に保存されている雁行堤がよく知られている。石積みは、試掘調査時に2個確認したが、調査区内では7個の石が、面を合わせて1列に並んでいる状態が確認出来た。石自体に加工した様子は見られず、自然石の平らな面を合わせて並べているようである。笛吹川の流れに対して、やや斜め方向に作られている。基礎部分の石列1列は明確に残っていたが、それ以上の構造は残っていなかった。川の上流に向いた面を川表というが、こちら側は、河川の氾濫を受け完全に破壊されたと考えられ、川裏の根石部分のみ残った状態と考えられる。遺物の出土が少なく、時期を限定することが難しいが、『山梨県堤防・河岸遺跡分布調査報告書』では、分布が確認されていない場所での調査となり、笛吹川系の堤防遺跡に新資料を追加することが出来た。

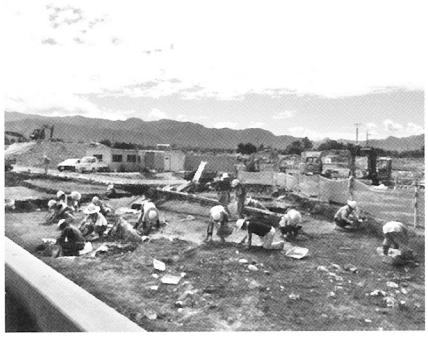


中島遺跡・下河原遺跡　調査範囲図

中島遺跡全景



下河原遺跡全景



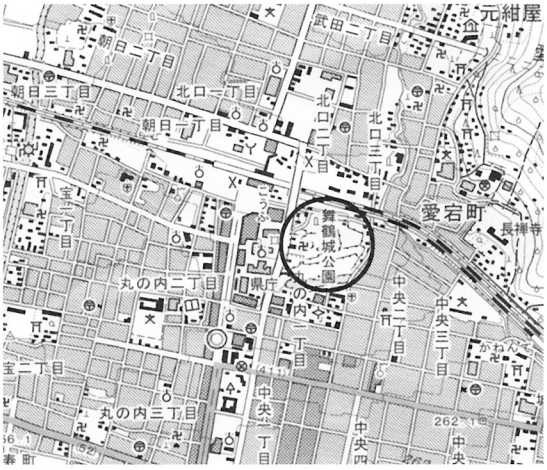
調査風景（中島遺跡）

遺物出土状況（中島遺跡）

堤防跡検出状況（下河原遺跡）

2　整備事業に伴う調査
2―1　県指定史跡甲府城跡石垣維持管理事業

所 在 地　山梨県甲府市丸の内一丁目1-9他
事 業 名　県指定史跡甲府城跡石垣維持管理事業
調査期間　2018年1月9日～3月27日
担 当 者　保坂和博・石神孝子・依田幸浩・飯室剛史・柴田亮平・上野桜・米田明訓・小池準一・古屋ひろみ・金丸由樹



位置図

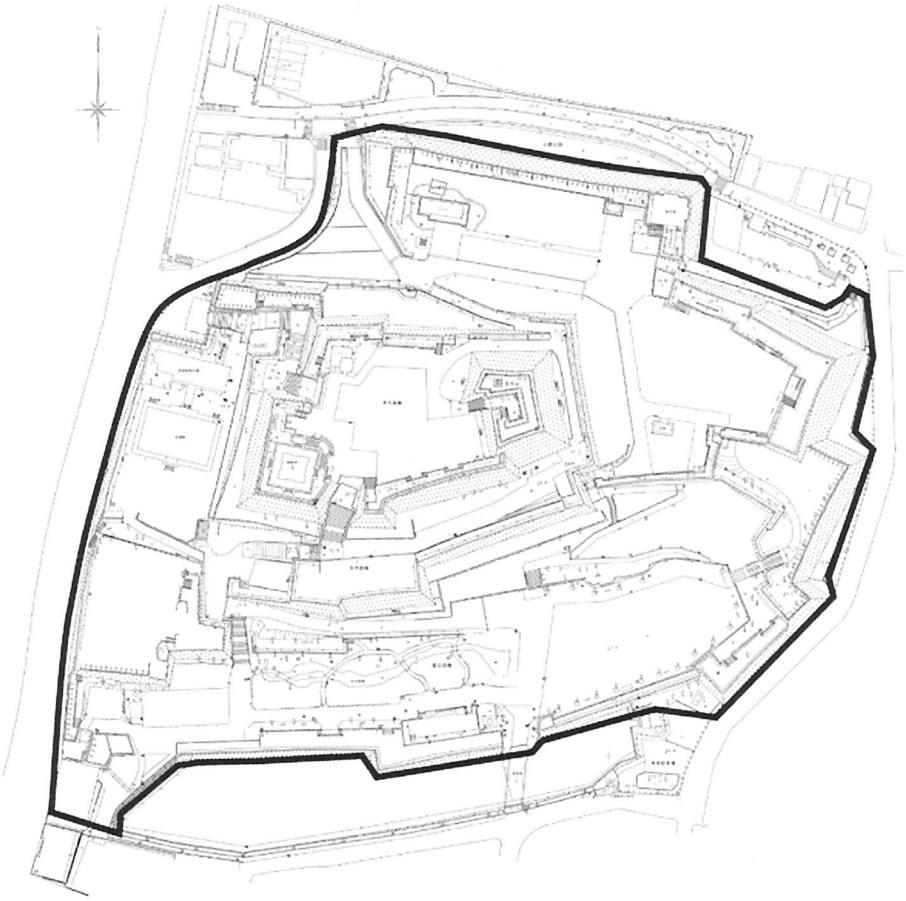
県指定史跡甲府城跡（都市公園舞鶴城公園）は、織豊期末期の文禄・慶長年間（1590年代）に築城された城郭である。約19haあった城全域が堀と石垣で囲われていたことが、発掘調査や史料調査から明らかになっている。明治以降の鉄道敷設や市街地開発などによって面積は約5.5haとなったが、現在でも城内の全域に築城当時の野面積み石垣が良好に残っており、甲府城跡の歴史的・文化財的に最も評価される特徴と位置づけられている。

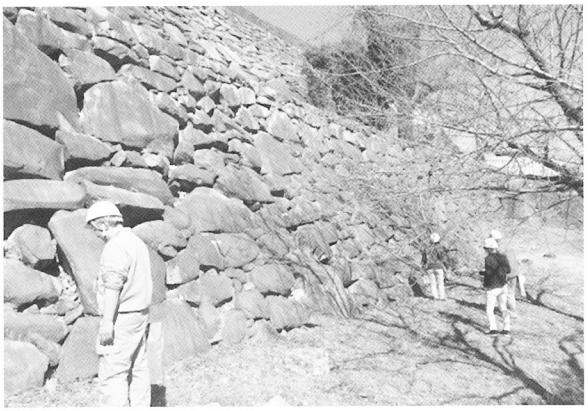
この状況に対し、本県では良好に残る約5.5haを県指定史跡として指定し保護することを決定した。また、1985年ごろから舞鶴城公園整備計画が数ヶ年にわたって検討され、1990年から県土整備部と県教育委員会で、防災、復元、修景を目的とした石垣改修工事を中心に、歴史的建造物の復元、便益施設、園路、広場設備、城内建物の撤去などの整備事業を実施してきた。当該事業は2004年度に完了した。

2005年度以降は、未改修石垣を対象として、公園利用者の安全確保や文化財保護の観点から、石垣の補修工事を実施してきた。石垣の補修工事は、現地調査によって石垣の傷み状況を記録し、補修方法を検討の上、詰石の締固め、交換、新規石材の補充を中心とした工事により、石垣の強度を維持させるものである。これは、改修工事と異なり、石垣を解体することなく安定化させる手法であり、オリジナル石垣を可能な限り旧状のまま後世に残す方法の一つとして期待できるものである。

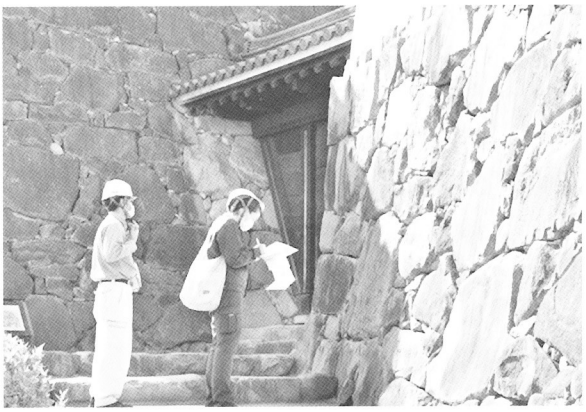
石垣補修事業は2014年度までの10年間継続し、概ね完了した。そこで、2015年度からは、甲府城跡内全域の石垣を対象とした維持管理事業へと移行することとなった。

今年度は、史跡資料活用課職員による石垣全面の目視点検を実施した。2018年1月9日から週一回のペースで366箇所ある石垣全面の目視点検を実施し、特に落石のある石垣のチェックを行った。また、1月9日と3月12日には重点点検として、史跡資料活用課職員全員で目視点検を実施し、落石や落書きの有無などの点検を行った。


※枠線内の全ての石垣を対象とする

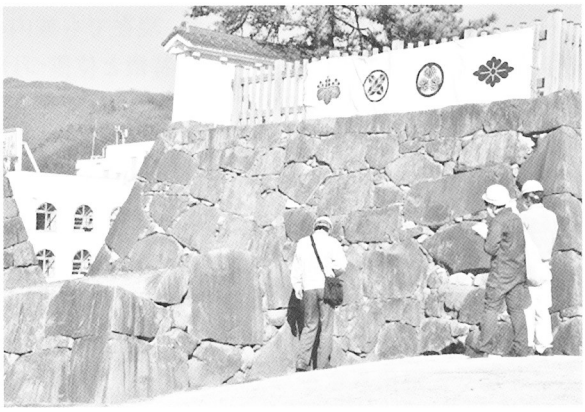


職員による目視点検①

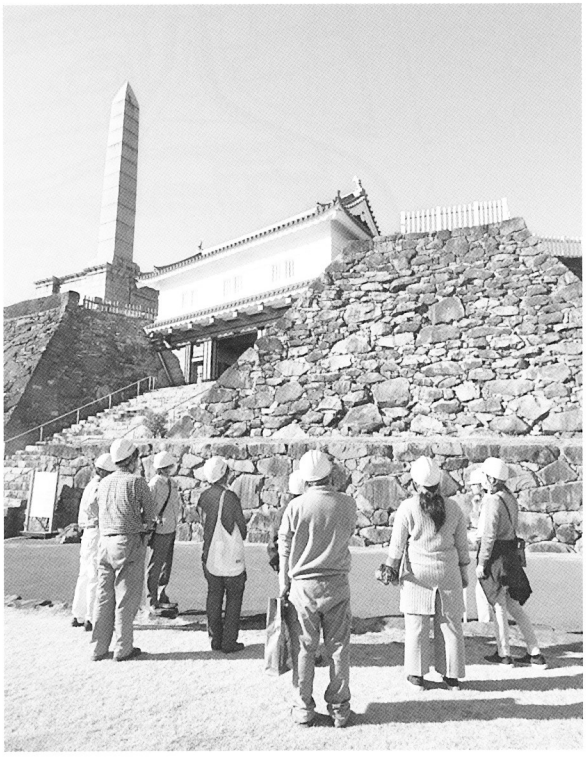


職員による目視点検②

職員による目視点検③



職員による目視点検④

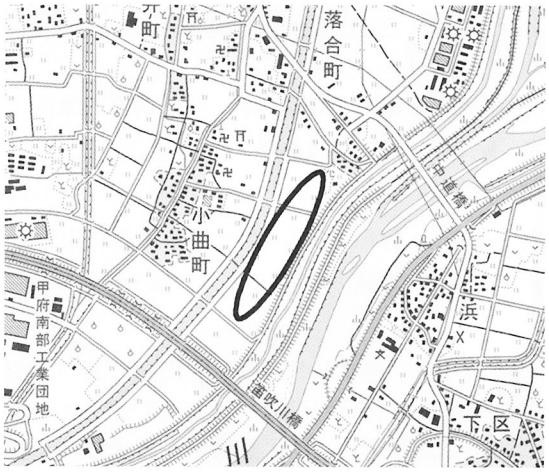


職員による目視点検⑤

3　県内分布調査

3－1　新山梨環状道路東部区間Ⅰ期建設事業（試掘）

所 在 地　甲府市小曲町地内
事 業 名　新山梨環状道路東部区間Ⅰ期建設事業
調査期間　2018年3月2日～27日
調査面積　約1,632.52㎡（施行対象面積 約29,654.51㎡）
担 当 者　井上彰雄・塩谷風季・長田隆志



施掘調査　位置図

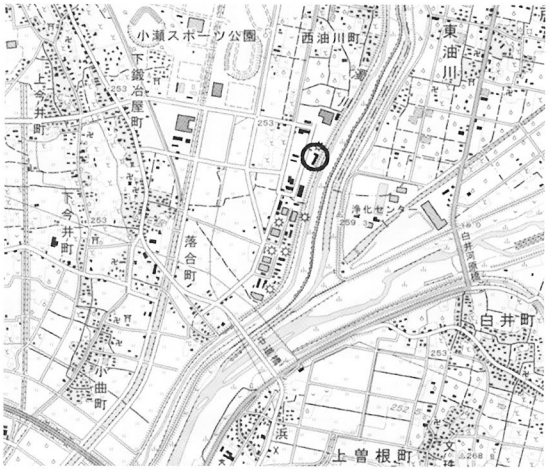
昨年度の新山梨環状道路東部区間（第Ⅰ期）は、2017年11月1日付で試掘調査依頼を受け、2018年3月14日～24日にかけて北端と南端部分の買収済み区画について試掘調査を実施した。今年度は、未買収であった地点の試掘調査を実施するに当たっての用地取得状況等の協議を行ってきた。

調査は、2018年2月7日付で学術文化財課から試掘依頼を受け、2018年3月2日～3月27日の期間で15本のトレンチを設定し、重機による掘削及び人力精査作業と記録作業を行った。

調査の結果、耕作土の下に攪乱や埋土が厚く堆積し、調査区南側よりの地点では、現地表下80cmで湧水が確認された。水を抜きながらの作業で8～12・14号トレンチからは足跡の痕跡が検出された。前回の調査において、畦畔や足跡がグライ化した黒褐色粘土層から確認されており、近世の陶磁器片も出土している。この近世の水田面下の安定した土層が中世以前の水田である可能性を有していることから、水田面下の土層を中心に遺構・遺物の確認を行ったが、遺構・遺物は確認できなかった。11号トレンチでは、東壁面で土坑の可能性が考えられる痕跡が確認されたが、遺物を伴わず時期不明のため、遺構とは判断しなかった。このことから、山梨県教育委員会埋蔵文化財事務取扱要項第3条に基づき、今回の調査地点においては、工事に着手しても差し支えないと判断される。

3－2　新山梨環状道路東部区間Ⅱ期建設事業（試掘）

所 在 地　甲府市落合町地内
事 業 名　新山梨環状道路東部区間Ⅱ期建設事業
調査期間　2017年5月10日
調査面積　約188.67㎡（調査対象面積約3,121㎡）
担 当 者　笠原みゆき・井上彰雄・塩谷風季



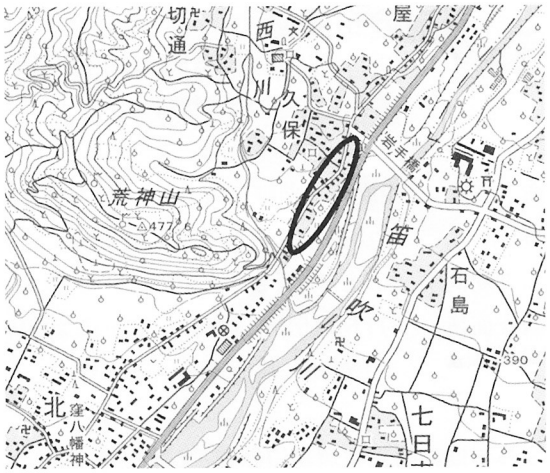
遺跡位置図

試掘調査では、3つのトレンチを設定し、重機による掘削及び人力による精査作業を行った。各トレンチの土層堆積状況を比定し、地表下の粘性土が水田耕作土と認定できるかどうかを主眼に置いて調査を実施したが、水田の床土として一定の掘削深度で共通した粘性土が見られる等の特徴は確認されなかった。また各トレンチの範囲内で畦畔も確認されず、遺物の検出は1号トレンチの4層粗砂層から平安時代の土師器1点のみであった。

試掘調査の結果、今回の試掘調査地点においては、遺跡がないと判断されるため、工事に着手しても差し支えないと判断される。ただし、本事業の工事範囲周辺には、小曲氏屋敷跡を含む複数の中世城館跡が分布しており、中世段階において城館跡を中心に生産域として開発された可能性は十分考えられることと、工事範囲が広域に及ぶことから、今後も立会調査や試掘調査を実施する必要がある

3－3　西関東連絡道路Ⅱ期建設事業（試掘）

所 在 地　山梨市東字中島、字下河原　地内
事 業 名　西関東連絡道路Ⅱ期建設事業
調査期間　2017年4月19日～20日、5月16日～22日
調査面積　約648.6㎡（調査対象面積6,305㎡）
担 当 者　笠原みゆき・井上彰雄・塩谷風季



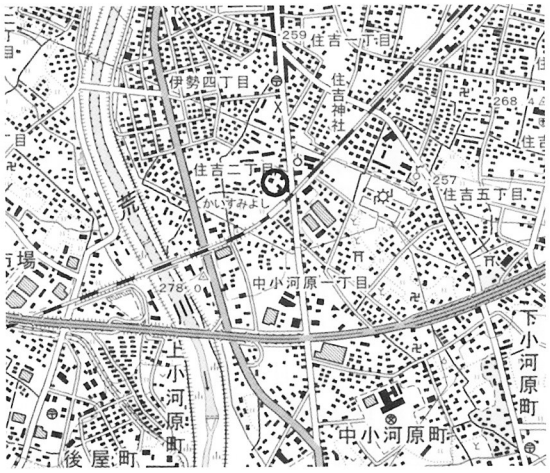
試掘場所　位置図

「中島遺跡（縄文時代、平安時代）、下河原遺跡（中・近世）」の周知の埋蔵文化財包蔵地で、2015・2016年度から試掘調査を実施しており、今回の試掘調査の対象は昨年度曳家が終了しなかった部分と2017年5月15日付けで新たに収用された範囲である。4月19日～20日に5か所、5月16日～22日に12か所の合計17か所のトレンチを設定し重機による掘り下げの後、人力による精査作業及び記録作業を行った。

3・4・6号トレンチから平安時代の土師器片が大量に出土したため、発掘調査が必要であると判断した。14・15・16号トレンチから合わせて4つの石列が検出された。堤防跡の時期を比定し得る遺物は出土しなかったが、1号石列は石積みの形状から江戸時代以降に築成された可能性がある。当該地の笛吹川の治水・利水技術を知る上で重要な資料となるため、これらも発掘調査が必要である。それ以外の範囲は、工事に着手しても支障はないものと判断した。発掘調査については1-7で述べている。

3－4　子どもの心のケア総合拠点整備事業（試掘）

所 在 地　甲府市住吉三丁目 地内
事 業 名　子どもの心のケア総合拠点整備事業
調査期間　2017年6月12日、6月19日～23日
調査面積　約327㎡（調査対象面積約7,300㎡）
担 当 者　笠原みゆき・塩谷風季

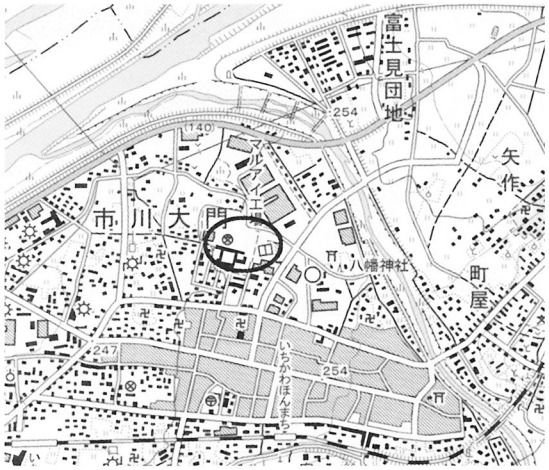


試掘場所　位置図

調査対象地には、周知の埋蔵文化財包蔵地である「住吉天神遺跡」（古墳、奈良、平安時代の散布地）中心とする地域である。試掘対象地の北側と西側は2019年2月に試掘調査を実施して、今回は南側～東側の試掘調査を実施した。幅3m×長さ約15～20mの試掘トレンチを9本設定して、重機による掘削及び人力による精査作業を行った。調査区全体をとおして、地表面から約50cmまで攪乱と埋め土であり、その下は砂の堆積が続き、約200cmで湧水が見られた。砂層の堆積は数cmから数十cmと層厚に差があるもののほぼ水平なため自然堆積と考えられる。遺構は確認されず、遺物は前述の土師器片が2点のみ確認されたが、上流から流れ込んだ可能性がある。このことから、調査対象地は河川の氾濫原の可能性があるため、昨年度と今年度の2回に渡る試掘調査の結果、この調査地点においては遺跡の可能性は極めて低く、工事に着手しても差し支えないと判断した。

3－5　峡南地域単位制・総合制高校建設事業（試掘）

所 在 地　西八代郡市川三郷町市川大門字新町前1852-5・6、字八乙女1781-1
事 業 名　峡南地域単位制・総合制高校建設事業
調査期間　2017年6月26日～27日・29日、7月3日～5日、12月5日～7日
調査面積　約262.7㎡（調査対象面積約4,041㎡）
担 当 者　井上彰雄・塩谷風季



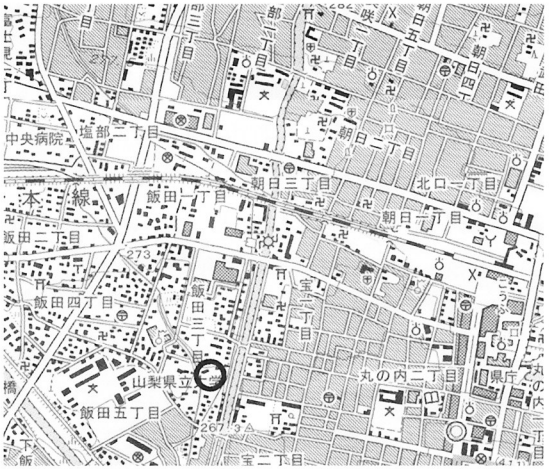
試掘場所　位置図

本事業は県教育庁学校施設課が増穂商業高校、市川高校及び峡南高校を再編し、峡南地域の単位制・総合制高校建設に伴う試掘調査である。本事業の試掘調査の対象は、全体の工事開発面積約49,000㎡あるが、その中には町民体育館と町民会館の既存の建物が含まれるため、建物のない市川高校グラウンド内の試掘（1～6号トレンチ）を実施して、次に地上建造物や地下埋設物の影響のない町民会館西駐車場を続いて試掘（7号トレンチ）することになった。

1～6号トレンチで石組遺構1基、Pit14基と平安時代の土器片が確認され、7号トレンチからは柵列状小穴9基、Pit3基と中世の青磁片、金属製品1点、平安時代の土器片が確認された。どちらも2m付近で遺物包含層が2層あり、遺構確認面が地表下2m以深の地下深くに存在することから破壊されずに残っている可能性があり、開発事業に先立って埋蔵文化財の調査対応が必要と判断する。調査地点は包蔵地外であったが「平成30年3月29日付け教学文第3498号」で新町前遺跡として新たに登録された。

3－6　甲府工業高校専攻科建設事業（試掘）

所 在 地　甲府市飯田三丁目 地内
事 業 名　甲府工業高校専攻科建設事業
調査期間　2017年7月10日～7月12日
調査面積　202.7㎡（調査対象面積約5,400㎡）
担 当 者　笠原みゆき・長田隆志



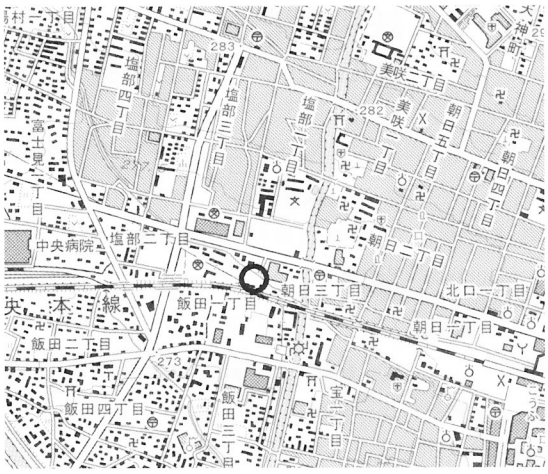
試掘場所　位置図

甲府工業高校では、専攻科校舎を敷地内のテニスコートと弓道場の位置に新規建設し、テニスコートと弓道場を、甲府市飯田三丁目の旧県職員宿舎跡地に移設することになった。移設予定地は、現状では埋蔵文化財の存在について確認がされていないが、埋蔵文化財保護の対応が必要となるため、現地協議を行い、2017年6月2日付で学術文化財課から試掘依頼を受け試掘調査を実施した。調査で、サブトレンチ1のGL-240cmの黒褐色粘土層から木杭が2本確認された。木杭は、遺物等を伴っていないため、時期は不明である。それ以外の遺物は、2号トレンチから近世の陶磁器片2点、3号トレンチから平安時代の土器片1点と近世の陶磁器片1点が検出されている。4号トレンチは、トイレのピットを設けるためにGL-300cmまでの掘削が予定されているが、GL-155cmまでは攪乱が激しく湧水もあり、掘削深度が浅くなってしまった。

調査によって、平安時代の土器片1点と近世の陶磁器片5点が出土しているが、周囲からの流入と思われる。この結果から、山梨県教育委員会埋蔵文化財事務取扱要項第3条に基づき、テニスコートと弓道場の移設地点においては、工事に着手しても差し支えないと判断される。

3－7　甲府工業高校専攻科建設事業（試掘）

所 在 地　甲府市塩部二丁目2266-1
事 業 名　甲府工業高校専攻科建設事業
調査期間　2017年11月28日～12月1日
調査面積　115.5㎡（調査対象面積　2,125㎡）
担 当 者　笠原みゆき・井上彰雄・長田隆志



試掘調査　位置図

本事業は、専攻科校舎を新規建設する事業で、甲府工業高校は周知の埋蔵文化財包蔵地である塩部遺跡内に位置する。

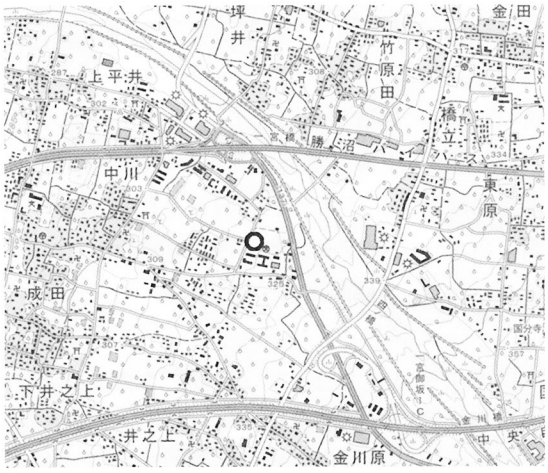
弓道場北側の駐車場部分の1号トレンチでは、GL-240cmの黒褐色粘土層から木杭が南北方向に並ぶ様子が確認された。木杭は、遺物等を伴っていないため、時期は不明である。

テニスコート内では、2号トレンチで土器片1点がGL-148cm地点から検出されたほか、甲府空襲で投下されたと考えられる焼夷弾の残骸が粘土層に突き刺さるような形で確認された。3号トレンチは、水田の床土直下から、深さ20cmの溝跡が1条、東西方向に確認された。また、4号トレンチでは、イヌと思われる動物の骨の一部が表土直下のGL-96cm地点から検出された。5号トレンチでは、遺構・遺物は検出されなかった。

試掘調査の結果、主な遺構は、3号トレンチから確認された近世から近代にかけての溝跡1条で、遺物は、土器片1点と陶磁器が少量出土しているのみで、遺構・遺物の密度は極めて散漫である。このことから、『山梨県教育委員会埋蔵文化財事務取扱要項』第3条に基づき、専攻科校舎の建設が予定されているテニスコートと弓道場地点においては、工事に着手しても差し支えないと判断される。

3－8　県立桃花台学園浄化槽等設置事業（試掘・立会）

所 在 地　笛吹市石和町中川1400
事 業 名　県立桃花台学園浄化槽等設置事業
調査期間　2017年11月8日・9日、2018年3月3日
調査面積　約16㎡（対象面積約84.5㎡）
担 当 者　吉岡 弘樹・高左右 裕

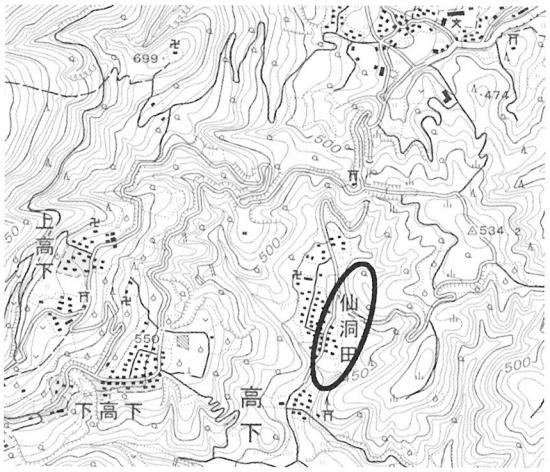


試掘調査　位置図

本事業は県立桃花台学園のグラウンド際に浄化槽及び浸透枡を設置するもので、当地は周知の埋蔵文化財包蔵地の狐原遺跡に位置している。埋設予定箇所に幅約1mのトレンチを直交するように東西南北に十字に交差するトレンチを開口したところ、主たる南北トレンチ北側にはコンクリート製の集水管が南西から北東に向けて伸びており、一方、南側には建物の基礎と思われるコンクリートが、埋設箇所の南西隅に南北約2.6m、東西約3mの大きさで埋設されていることが判明した。また、同トレンチの中央部では、約80cmの埋土の下に旧耕作土とみられる約20cmの褐色土層があり、その約30cm下の黒褐色土層から平安時代を主とした土師器片が20片ほど出土した。さらに、この土層から土坑が1基確認され、中からは平安時代の土師器片が1片出土しており、この層位が遺跡の主体層になると思われる。この土層は前述した北のコンクリート製の集水管と南のコンクリート建物基礎の下に潜り込んでおり、これらの下には遺構や遺物が存在している可能性が考えられたため、埋蔵文化財の保護措置が必要である。また、消火栓水管設置に伴う立会調査では、遺構及び遺物の検出もないことから遺跡に及ぼす影響はないと考えられるため、工事に着手しても支障はないものと判断した。

３－９　中央新幹線（高下地区）建設事業（試掘）

所 在 地　南巨摩郡富士川町高下字久保田～同町高下字中屋
事 業 名　中央新幹線（高下地区）建設事業
調査期間　2018年2月5日～20日
調査面積　約191.3㎡（施行対象面積3,826.17㎡）
担 当 者　井上彰雄・塩谷風季・長田隆志



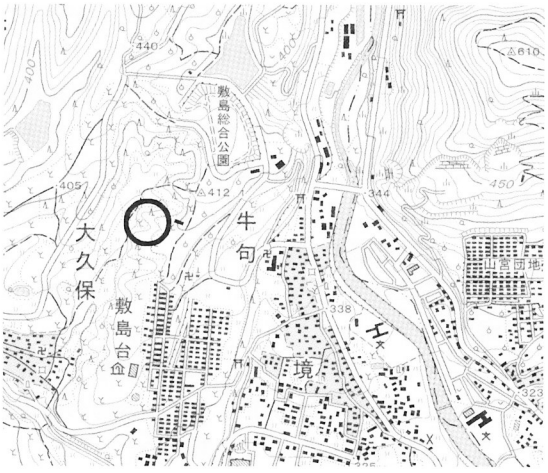
試掘調査　位置図

学術文化財課からの試掘依頼を受け、重機による掘削及び人力による精査記録作業を実施した。

調査の結果、調査区に入れた試掘トレンチのほとんどは、砂礫層が厚く堆積している状況であった。その中で、調査区の西側が緩斜面地の山地となる12号トレンチから中世（鎌倉時代）の陶器が1点出土した。遺構確認のために土層等を確認したが、平面的にも断面的にも遺構・遺物が確認されなかったことから、山からの流れ込みと考えられる。9号トレンチからは、畦畔が確認された。土層等の確認をしたが、遺構・遺物は確認されず、水田が営まれていた時期を知ることはできなかった。また、15号トレンチからは、グライ化した土の中から2本の木材が水平に重なった状態で出土した。人工物なのか、自然の物か確認するために掘削範囲を広げたが、加工痕等は確認されなかったことから、自然の木材であると判断した。したがって、今回の調査地点は、工事を着手しても差し支えないと考えられる。しかし、工事範囲が広大で、付近には埋蔵文化財包蔵地である仙洞田氏屋敷や下高下遺跡などが存在するため、工事の際には事前協議等が必要である。

３－１０　山梨新環状道路北部区間（コウモリ BOX）建設事業（試掘）

所 在 地　甲斐市大久保字村東1135-1～同市大久保字上ノ段988-4
事 業 名　新山梨環状道路北部区間（コウモリBOX）建設事業
調査期間　2018年1月22日～2月2日
調査面積　約243.25㎡（施行対象面積3,166㎡）
担 当 者　笠原みゆき・井上彰雄・長田隆志



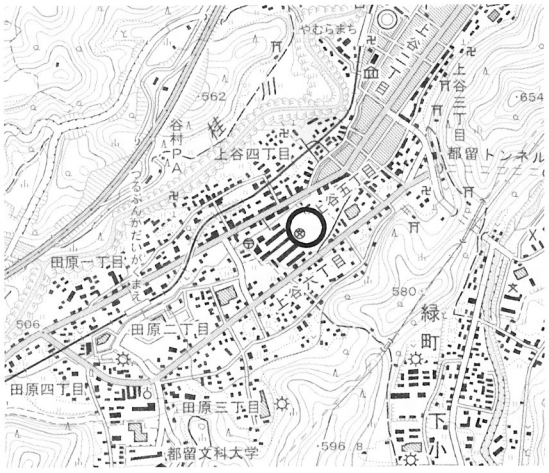
試掘調査　位置図

学術文化財課をとおして事業照会があり、協議を行った。その内容は、用地内にあるキクガシラコウモリの営巣地が壊されるため、新しい営巣地を建設するというものであった。対象地は埋蔵文化財包蔵地ではないが、周辺の台地上に遺跡が点在することから、試掘調査を行うこととなった。

調査は、西側の一段高い台地が反り出したような地形の水田に1・2号トレンチを設定した。壁面を精査したところ、水田が2面確認された。2面目の水田の床土直下から遺物の残存状況が良好な縄文後期の土器片が1号トレンチのGL-1.19m地点、2号トレンチのGL-0.72～0.78m地点から検出された。縄文時代後期には、台地の斜面に集落を作る例もあるため、遺構等の有無確認のためトレンチを新たに3本設定したが、いずれのトレンチからも遺構・遺物は確認されなかった。台地上には、上ノ段C遺跡などの縄文土器の散布地があることから出土した遺物は、流れ込みの可能性が高い。5号トレンチのGL-0.82m地点からは、遺構や遺物は確認されていないが、水田の床土部分に突き刺さるような形で木杭片が確認された。しかし、それ以外のトレンチからは、遺構や遺物は確認されていない。このため、今回の調査地点は、工事を着手しても差し支えないと考えられる。

3－11　県立都留興譲館高等学校建設事業（試掘）

所 在 地　都留市上谷5-7-1
事 業 名　県立都留興譲館高等学校建設事業
調査期間　2017年6月15日、10月4日・27日、11月6日・10日・14日・26日、2018年1月26日
調査面積　96.7㎡（対象面積3,173㎡）
担 当 者　今福利恵・吉岡 弘樹・長田隆志・高左右 裕



試掘調査　位置図

本事業は、県立都留興譲館高校建設事業に伴う立会調査である。立会は、2017年6月から2018年2月までの予定で、工事期間に実施される工事の工程に合わせ、事業課で準備する重機を使用して行なった。なお事業予定地は、周知の埋蔵文化財包蔵地である三ノ側遺跡内に位置する。

都留興譲館高校内の文化創造館「洗心館」の南側に位置する弓道場建設工事の基礎部分、部室・倉庫類の基礎工事としての土壌改良、グラウンド照明用の電線埋設工事、仮設校舎の解体に伴う基礎撤去、旧弓道場の基礎撤去の5地点で立会いを実施した。

弓道場建設工事の基礎部分では、2条のトレンチを掘削精査したところ浅い土坑と思われる遺構が1基確認された。しかし、他に遺構や遺物の検出は認められなかった。

部室・倉庫類の基礎工事としての土壌改良においては、3カ所で土層堆積状況を確認したが調査位置はグラウンド整地時に設置されたコンクリート基礎などによって破壊されており、その下層の安定した赤色スコリアを含む黒褐色土層も一部で検出したが、そこからも遺構・遺物ともに認められなかった。

電線埋設工事箇所は仮設教室棟の東であり、旧弓道場の東側と仮設教室棟の北側とで調査を行った。対象地の東側では、長さ約8m、幅約0.5m、GL 約 -1.0m の範囲で北西から南東に向けて土層を観察したところ、砕石・既存配線・クッション砂の他、グラウンド造成時の埋土が確認できたのみで、遺物及び遺構は検出されなかった。また北側では、埋設電線用のハンドホールを埋めるために、長さ約3m、幅約1m、GL 約 -1.4m を掘削したが、南側と同様にグラウンド整地時の埋土に収まっており、遺構及び遺物は確認できなかった。

仮設棟校舎の基礎は、旧グラウンド表土を僅かに削り取った後に、砕石を敷いて全面にコンクリート基礎を施行していたことが確認できた。基礎の撤去作業に伴う掘削は深いところで、実習棟南側が GL-50cm ほどと浅く、旧グラウンド表土で収まり、遺構・遺物ともに検出されなかった。

また、旧弓道場の基礎の周囲は、グラウンドと同レベルの表土の下を掘削し、基礎を施工後に砕石と埋め土により転圧していることが判明した。施工時には外周に約1m の深度までコンクリート基礎部を入れ、他所には約20cm の厚さで全面がコンクリート施行されていた。

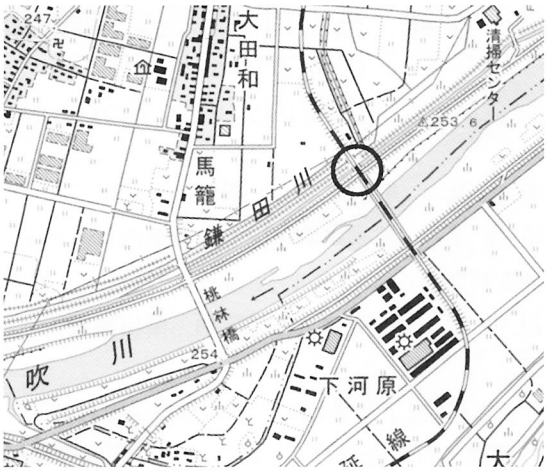
これらのとこから、すべての地点で埋土や攪乱などが確認され、過去の発掘調査において確認されている遺構確認面より浅く、遺構の検出も希薄で有り遺物の出土もないことから、遺跡に及ぼす影響はないと考えられるため、工事に着手しても支障はないものと判断した。

弓道場建設位置調査風景

電線埋設工土層堆積状況

３－１２　鎌田川河川改修工事事業（立会調査）

所 在 地　中央市大田和 地内
事 業 名　鎌田川河川改修工事事業
調査期間　2017年7月13日・20日
調査面積　約29.7㎡（調査対象面積約29.7㎡）
担 当 者　今福利恵・長田隆志



試掘調査　位置図

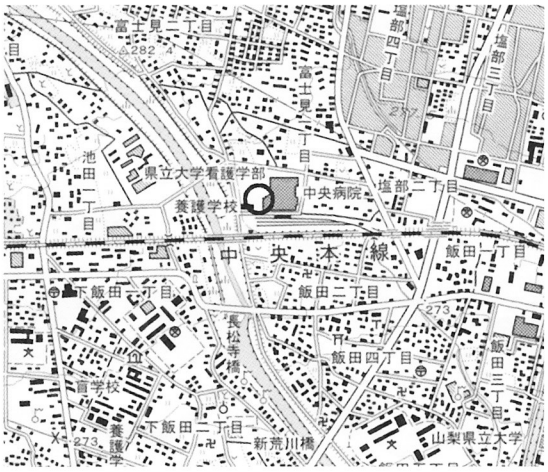
鎌田川は、2010年度から河川の改修工事が行われている。2013年度には鎌田川とＪＲ身延線の交差する部分の調査で、堤体の構築部分が一部確認された。今回は、2013年度に調査を行った西側の擁壁部分と擁壁南側にある河川の切り替え工事に伴う立会調査である。

擁壁部分の調査では、現地表下150cm付近の砂層より橋台を支える木杭（直径0.1m、長さ約0.9m）が並んで確認された。遺物は平安時代の土器1点が出土したが、近代のスパナや鉄釘などと一緒の砂層から確認されていることから流れ込みによる可能性が考えられる。河川の切り替え工事に伴う調査では、表土内に多量の農業資材が確認された。表土を取り除いたところ、直径4cm大の礫を多く含む埋土が約85cmあり、その下に直径3～5cmの礫を含む自然堆積の砂が堆積している状況が確認された。埋土内から平安時代の土器1点が出土したが、堤体等の遺構は確認されなかった。

2013年度の調査から、堤体の構築部分の一部が確認できる可能性もあると考えられていたが、検出されなかった。遺物は平安時代の土器片が2点確認されたが、埋土内や砂層の流れ込みと考えられる所からの出土で、遺構等に伴うものではない。したがって、今回の調査地点においては工事に着手しても差し支えないと判断される。

３－１３　県立中央病院屋上ヘリポート給油設備工事（立会調査）

所 在 地　甲府市富士見一丁目地内
事 業 名　県立中央病院屋上ヘリポート給油設備工事
調査期間　2017年5月8日～9日・22日、6月1日・6日・13日～14日・27日、8月1日
調査面積　197.9㎡（調査対象面積137.9㎡）
担 当 者　今福利恵・笠原みゆき・山本茂樹・長田隆志



試掘調査　位置図

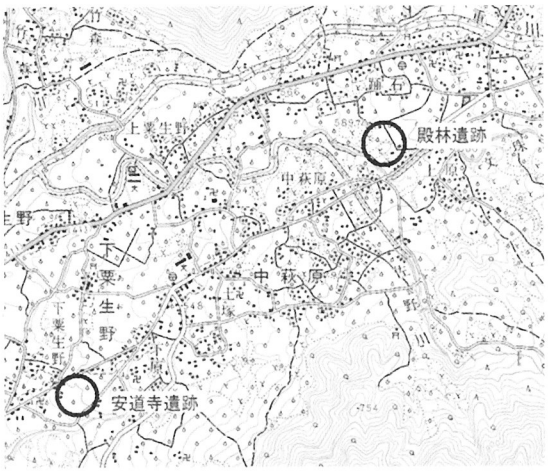
当初予定にはなかったが、立会調査の依頼が学術文化財課を通じてあった。給油管路は直線部分だけで60m以上あり、職員駐車場出入口などの道路下に埋設するため、一度に掘削することはできない。このため、施工業者から提出された工事計画に沿って、掘削を伴う日のみ立会調査を行うこととなった。管路工事では、GL－80cm付近の埋土の下から茶褐色砂層が検出された。これまでの調査から、茶褐色砂質土の下に遺構が存在していると考えられているが、掘り抜くまでには至らず、遺構・遺物は確認されなかった。

屋内ポンプ施設設置の掘削では、GL-52cmから旧水路跡が検出された。屋内ポンプ施設は、水路跡の直上に建てるため、水路の壁を壊さずに基礎として利用されることとなった。また、地下タンク部分の掘削では、GL-90cm付近からコンクリート基礎が確認された。基礎撤去後に立会調査を行ったところ、砂礫層が厚く堆積し、遺構・遺物は確認されなかった。

今回の調査では、遺構が存在していると考えられる茶褐色砂層を掘り抜くまでには至らず、遺構および遺物は確認されなかった。その結果、工事に着手しても差し支えないと判断した。

３－１４　笛吹川沿岸国営施設機能保全事業に先立つ甲州市殿林遺跡・安道寺遺跡周辺の詳細分布調査

所 在 地　甲州市塩山上萩原・中萩原・下粟生野地内
事 業 名　笛吹川沿岸国営施設機能保全事業
調査期間　2017年4月3日～2018年3月30日
担 当 者　上野桜・熊谷晋佑・柴田亮平



遺跡位置図

2014年度より実施している甲州市殿林遺跡・安道寺遺跡周辺の詳細分布調査事業は、農林水産省関東農政局西関東土地改良調査管理事務所笛吹川沿岸支所が実施している笛吹川沿岸国営施設機能保全事業（2012年度～2021年度）に先立ち、埋蔵文化財の破壊を未然に防ぐため、両遺跡の埋蔵文化財の遺存状況の把握や価値付けをしていくものである。

2017年度の事業内容は、現地における聞き取り調査の実施および、2015年度の調査で採集した縄文時代の遺物の権利放棄の手続き作業、および整理作業である。聞き取り調査と遺物の権利放棄の手続きは、並行して行った。聞き取り調査は、過去の畑の掘削等で遺物が出土しているかどうか、河川の氾濫・土地造成等の経緯、当該地の歴史について土地所有者に対して聞き取りを行い、遺跡の広がりや歴史的環境についての知見を得ることができた。権利放棄の手続きは、地権者に権利放棄承諾書に署名、捺印をしていただく形で進めた。安道寺遺跡では、土地所有者が発見したほぼ完形の釣手土器について、同様の手続きを行い、県教育委員会の所管とした。

2015年度の調査で採集した際の遺物については、時期が特定できる資料、大型の資料を中心に抽出し、2018年1月9日～3月23日にかけて、土器の実測・拓本等の整理作業を実施している。

第Ⅲ章　県内の概況

1　届出件数と内容

平成19年度より文化財保護法施行令第5条により県教育委員会が行うこととされている文化財保護法第93条の指示及び第94条の勧告に係る権限の一部を、富士吉田市を除く11市に移譲し、平成20年度には富士吉田市へ、平成22年度には身延町および富士河口湖町へ権限を移譲したことにより、県下の14市町へ文化財保護法第93条・第94条に係る権限の一部を移譲した。権限移譲を行ったのは指示･勧告のうち工事立会、慎重工事などの軽微なもので「発掘調査」や「試掘・確認調査」の指示・勧告は現行どおり県教育委員会にて行っている。権限移譲にあたって、埋蔵文化財の専門知識と客観的かつ合理的な基準が必要となることから埋蔵文化財専門職員が設置されている自治体を対象とし、山梨県教育委員会の事務処理の特例に関する条例の一部を改正する条例により実施した。よって平成19年度以降の届出件数について、権限移譲した分があるため県への届出件数が減少している。

平成29年度、県内の埋蔵文化財調査による届出件数については、法92条:8（8）件、法93条:163（162）件、法94条:26（36）件、法96条：0（0）件、法97条：1（0）件、法98条：0（0）件、法99条：196（194）件である。届出の総件数は394（400）件であり、前年度と比較すると、その件数は6件の減少となっている。

※（　）内数字は前年度。過去20年間の件数の変遷は38頁の表のとおり。

2　発掘調査

平成29年度に実施された県内の発掘調査件数は、38頁の表のとおり試掘調査を含めて196（202）件（発掘調査学術調査等含む）となっている。その内訳は、県教委による調査が11（11）件、市町村教委による調査が177（183）件、民間調査組織による調査が8（8）件である。発掘調査の原因は、道路19（17）件、鉄道0（0）件、河川0（1）件、学校建設6（3）件、集合住宅9（14）件、個人住宅55（43）件、工場5（7）件、店舗9（10）件、個人住宅兼工場又は店舗2（2）件、その他建物23（28）件、宅地造成38（37）件、土地区画整理0（0）、公園造成0（0）、ガス･電気･電話･水道1（6）件、農業基盤整備事業15（10）件、農業基盤整備事業以外の農業関係事業0（2）件、土砂採取0（0）件、その他開発10（13）件、自然崩壊1（0）件といった緊急調査と、学術調査2（2）件、保存目的の範囲確認1（0）件、遺跡整備1（0）件があった。緊急調査では、地方公共団体が行う公共事業では概ね昨年と同様の件数であるが、民間開発においては昨年に引き続き宅地造成に大幅な増加傾向がみられた。　※（　）内数字は前年度。

3　県・国指定有形文化財（考古資料）及び県・国指定史跡

平成29年度は、平成30年2月13日に笛吹市の史跡甲斐国分尼寺跡で史跡範囲が追加指定された。県指定有形文化財（考古資料）としては、かんかん塚（茶塚）古墳出土馬具6点と小井川遺跡出土五輪塔部材6点が9月7日に、上窪遺跡墓跡出土品一括資料と上中丸遺跡埋納遺構出土品一括資料が平成30年2月28日に指定された。史跡いずれにおいても新たな指定はなかった。現在、山梨県内の県指定有形文化財（考古資料）は46件、県指定史跡は29件、国指定有形文化財（考古資料）は6件、国指定史跡は15件である。

4　発掘調査の成果と保存整備事業

前述のとおり、発掘調査は試掘調査も含めて197件実施されている。甲府城下町遺跡（甲府市）では、二の堀に近接する区画が調査され、排水に関連する石組み遺構が発見された。当該遺構の主要部分は、その重要性を鑑み事業者の協力により現地保存するとともに、遺構の様子を知ることができる説明看板を設置した。北杜市の酒呑場遺跡では縄文時代の集落の一部が発掘され、竪穴住居跡１２軒（前期後半１軒、中期後半１１軒）、土抗８９基、集積遺構１基が発見された。韮崎市の御座田遺跡では、昨年に引き続き崖線下に６地点の灰原層が発見され、大規模な古代の窯業遺跡として注目された。

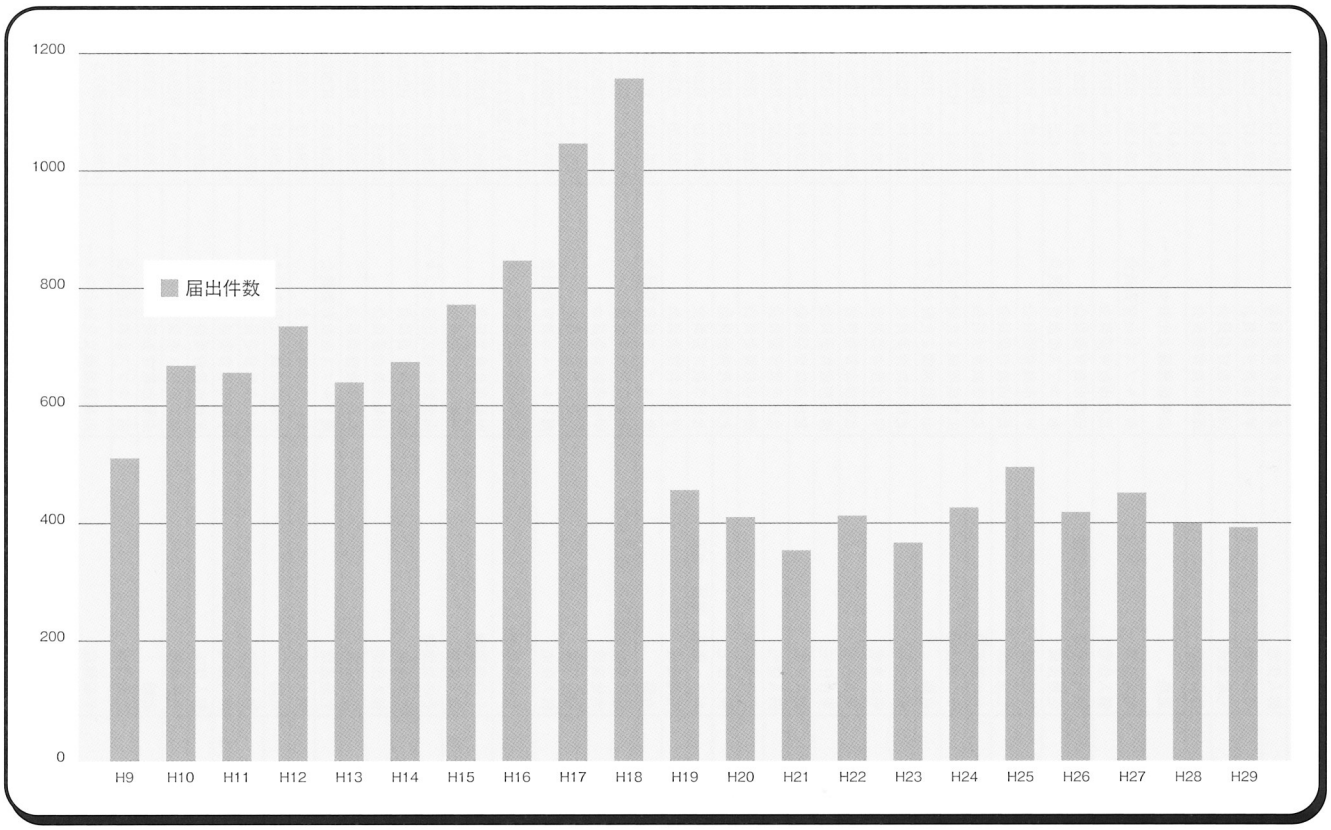
国指定史跡関連の保存整備事業としては田氏館跡（甲府市）で梅翁曲輪周辺の堀と土塁整備、新府城跡（韮崎市）で大手周辺の発掘調査、梅之木遺跡（北杜市）で環状集落部分の盛土整備・竪穴住居復元整備、勝沼氏館跡（甲州市）で四阿の再整備及び史跡の内容確認調査、甲斐国分寺跡・国分尼寺跡（笛吹市）で修景等を目的とした整備の実施、御勅使川旧堤防（南アルプス市）で保存整備委員会の実施等、史跡整備事業が実施された。

県指定史跡では、連方屋敷（山梨市）や竜塚古墳（笛吹市）、勝山城（都留市）で整備、於曽屋敷（甲州市）の公園整備のための発掘調査等が実施された。

5　発掘調査体制

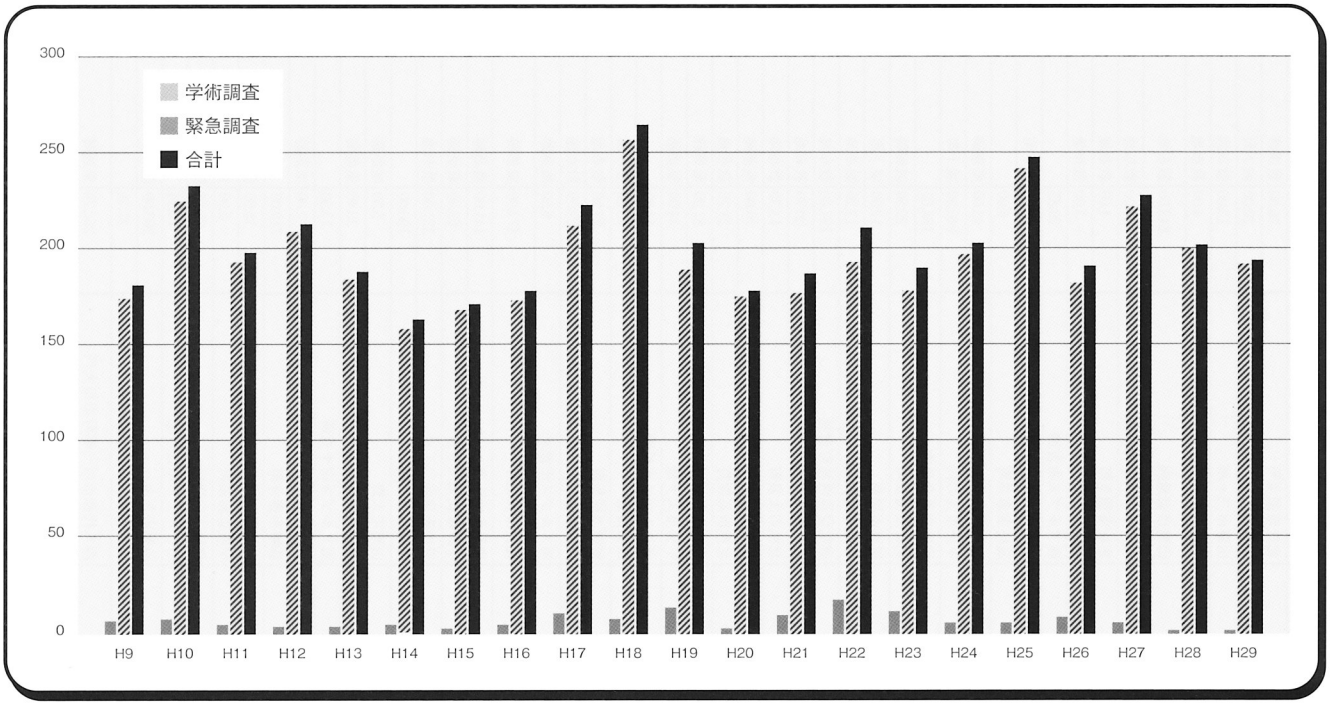
埋蔵文化財専門職員について、県では学術文化財課4名、埋蔵文化財センター22名（うち教員派遣交流3名、非常勤嘱託6名）、博物館2名、考古博物館4名（外に非常勤嘱託2名）である。市町村では、甲府市7名、富士吉田市2名、甲州市2名、大月市1名、韮崎市3名、南アルプス市4名、笛吹市5名、甲斐市2名、北杜市5名、山梨市3名、中央市2名（昭和町を兼務）、都留市1名、上野原市1名、身延町1名、富士河口湖町1名、それ以外の町村は0名、となっている。近年、専門職員の新規採用など埋蔵文化財担当者が増員される事例もみられるが、現状の埋蔵文化財担当者の配置率は、27市町村のうち16市町村で約59%であり、平成15年度の61%（64市町村のうち39市町村）と比べ減少している。埋蔵文化財担当職員数は54名から18名減の36名（嘱託等含む）の配置状況であり、市町村合併や発掘調査事業量の減少に伴い組織編成が行われたことや、埋蔵文化財専門職員の配置換えが行われたことによって、配置職員数も減少となっている。また専門職員の退職がここ数年で大きな山を迎えることが予想される。さらに文化財専門職員未設置の自治体では、文化財行政にも支障をきたす事例も発生している。このように、埋蔵文化財行政をとりまく環境は大きく変化しており、実情に見合った適切な専門職員配置は大きな課題である。行政としては、記録保存のための発掘調査の実施にとどまらず、これまでの膨大な調査成果の蓄積を適切に保存・研究・活用し、歴史を活かした地域づくりに資するなど、多様な業務を実施し、国民の期待に応えることが求められている。

届出件数の推移　※H19年以降は専門職員配置市町内での処理件数は含まない。



年　度	H9	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29
届出件数	513	671	659	738	642	677	775	850	1050	1161	458	412	355	414	368	428	497	420	453	400	394

発掘調査件数の推移



年　度	H9	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29
学術調査	7	8	5	4	4	5	3	5	11	8	14	3	10	18	12	6	6	9	6	2	2
緊急調査	176	227	195	211	186	160	170	175	214	259	191	177	179	195	180	199	244	184	224	202	194
合　計	183	235	200	215	190	165	173	180	225	267	205	180	189	213	192	205	250	193	230	204	196

2017年度　県内発掘調査一覧表

No.	遺跡の名称	所在地	面積（㎡）	遺跡の種類	時代	調査目的	調査主体	調査期間
1	馬場氏屋敷跡	北杜市白州町	15000.00	城館跡	中世	集合住宅	北杜市教育委員会	H29.3.31 ～ H29.9.20
2	後田遺跡	北杜市須玉町	36.00	集落跡	平安	個人住宅	北杜市教育委員会	H29.4.12 ～ H29.4.12
3	武田城下町遺跡	甲府市武田	20.00	城下町	中世	集合住宅	甲府市教育委員会	H29.4.17 ～ H29.4.18
4	新町東遺跡	山梨市三ヶ所	12.00	散布地	縄文	宅地造成	山梨市教育委員会	H29.4.17 ～ H29.4.20
5	小曽根第２遺跡	韮崎市旭町	4.00	散布地	縄文・奈良・平安	集合住宅	韮崎市教育委員会	H29.4.18 ～ H29.4.18
6	中島遺跡・下河原遺跡	山梨市東地内	648.60	散布地	縄文・中世・近世	道路	山梨県埋蔵文化財センター	H29.4.19 ～ H29.4.20 H29.5.16 ～ H29.5.22
7	反田第１遺跡	南アルプス市鏡中條	125.00	散布地	平安・中世	宅地造成	南アルプス市教育委員会	H29.4.20 ～ H29.5.1
8	肥道内山遺跡	北杜市須玉町	4.00	散布地	中世	個人住宅	北杜市教育委員会	H29.4.21 ～ H29.4.21
9	桜木第２遺跡	韮崎市旭町	3.00	散布地	平安・中世	個人住宅兼工場又は店舗	韮崎市教育委員会	H29.4.21 ～ H29.4.21
10	包蔵地外	南アルプス市吉田	20.85			宅地造成	南アルプス市教育委員会	H29.4.25 ～ H29.4.25
11	武田城下町遺跡	甲府市大手二丁目	12.00	城下町	中世	宅地造成	甲府市教育委員会	H29.4.25 ～ H29.5.12
12	駒井砂宮神遺跡	韮崎市藤井町	6.00			宅地造成	韮崎市教育委員会	H29.4.7 ～ H29.4.7
13	社口遺跡	北杜市高根町	43.00	集落跡	縄文	その他開発	北杜市教育委員会	H29.5.1 ～ H29.5.1
14	甲府城下町遺跡	甲府市丸の内	940.00	城下町	近世	その他建物	山梨県埋蔵文化財センター	H29.5.1 ～ H29.7.21
15	包蔵地外	甲府市落合地内	188.67			道路	山梨県埋蔵文化財センター	H29.5.10 ～ H29.5.10
16	上蔵原塁跡	北杜市高根町	29.50	城館跡	中世	個人住宅	北杜市教育委員会	H29.5.16 ～ H29.5.16
17	武田城下町遺跡	甲府市屋形	12.00	城下町	中世	宅地造成	甲府市教育委員会	H29.5.16 ～ H29.5.16
18	老ヶ森Ｂ遺跡	北杜市高根町	13.20	散布地	縄文	個人住宅	北杜市教育委員会	H29.5.18 ～ H29.5.18
19	東海戸道下遺跡	南都留郡西桂町倉見	197.00	散布地	縄文・平安	集合住宅	西桂町教育委員会	H29.5.18 ～ H29.5.18
20	新田遺跡	北杜市長坂町	20.70	散布地	縄文	個人住宅	北杜市教育委員会	H29.5.19 ～ H29.5.19
21	辻遺跡	北杜市大泉町	13.30	散布地	縄文・弥生・平安	個人住宅	北杜市教育委員会	H29.5.22 ～ H29.5.22
22	毘沙門遺跡	笛吹市境川町	70.00	集落跡	縄文・平安	その他建物	笛吹市教育委員会	H29.5.22 ～ H29.5.29
23	塚田遺跡	北杜市長坂町	21.70	散布地	古墳・平安	個人住宅	北杜市教育委員会	H29.5.23 ～ H29.5.23
24	柳坪北遺跡	北杜市長坂町	81.20	集落跡	縄文・弥生・平安	ガス・電気・電話・水道	北杜市教育委員会	H29.5.29 ～ H29.6.14
25	末法遺跡	甲斐市大下條	34.00	集落跡	縄文・古墳	宅地造成	甲斐市教育委員会	H29.5.30 ～ H29.6.8
26	包蔵地外	南アルプス市桃園	14.80			道路	南アルプス市教育委員会	H29.5.31 ～ H29.5.31
27	大久保遺跡	山梨市東	15.00	散布地	縄文・平安	農業基盤整備事業（農道含む）	山梨市教育委員会	H29.5.8 ～ H29.5.11
28	船山遺跡	甲府市横根町	22.20	散布地	古墳・奈良	宅地造成	甲府市教育委員会	H29.5.8 ～ H29.5.8
29	油田遺跡	甲府市蓬沢	29.00	散布地	古墳・奈良・平安	集合住宅	甲府市教育委員会	H29.5.8 ～ H29.5.8
30	徳永・御崎遺跡	南アルプス市徳永	6.50	集落跡	縄文	個人住宅	南アルプス市教育委員会	H29.5.8 ～ H29.6.1
31	酒呑場遺跡	北杜市長坂町	474.00	集落跡	縄文	その他建物	山梨県埋蔵文化財センター	H29.5.9 ～ 9.22,10.17 ～ 18,24,11.29,12.1,20
32	松ノ尾遺跡	甲斐市中下条	141.00	集落跡	弥生・古墳・平安	その他建物	甲斐市教育委員会	H29.5.9 ～ H29.5.30
33	朝気遺跡	甲府市朝気三丁目	62.00	集落跡	縄文・弥生・古墳・奈良・平安	個人住宅	甲府市教育委員会	H29.6.12 ～ H29.11.30
34	住吉天神遺跡	甲府市住吉二丁目	327.00	散布地	古墳・奈良・平安	その他建物	山梨県埋蔵文化財センター	H29.6.12 ～ H29.6.26
35	包蔵地外	山梨市三ヶ所	190.00			宅地造成	山梨市教育委員会	H29.6.12 ～ H29.6.30
36	大野砦跡	山梨市大野	5.50	城館跡	中世	個人住宅	山梨市教育委員会	H29.6.13 ～ H29.6.16
37	後原遺跡	北杜市高根町	35.40	集落跡	縄文・古墳・中世	宅地造成	北杜市教育委員会	H29.6.14 ～ H29.6.14
38	包蔵地外	南アルプス市十五所	13.50			宅地造成	南アルプス市教育委員会	H29.6.15 ～ H29.6.15
39	宮地第３遺跡	北杜市大泉町	2.00	集落跡	縄文・平安・中世	個人住宅	北杜市教育委員会	H29.6.15 ～ H29.6.15
40	相垈塁址	韮崎市藤井町	740.00			道路	山梨県埋蔵文化財センター	H29.6.15 ～ H29.9.1
41	原東沢遺跡	北杜市小淵沢町	15.00	散布地	縄文	個人住宅	北杜市教育委員会	H29.6.16 ～ H29.6.16
42	緑が丘二丁目遺跡	甲府市和田町	6.00	集落跡	縄文・弥生・古墳・奈良・平安	個人住宅	甲府市教育委員会	H29.6.19 ～ H29.6.22
43	大久保遺跡	北杜市白州町	35.50	散布地	古墳・平安・中世	個人住宅	北杜市教育委員会	H29.6.2 ～ H29.6.2
44	住吉遺跡	南アルプス市古市場	16.84		弥生・古墳・中世	宅地造成	南アルプス市教育委員会	H29.6.2 ～ H29.6.5
45	原ノ前遺跡	山梨市万力	203.00	散布地	奈良	店舗	山梨市教育委員会	H29.6.22 ～ H29.8.10
46	包蔵地外	南アルプス市小笠原	22.16			宅地造成	南アルプス市教育委員会	H29.6.23 ～ H29.6.23
47	新町前遺跡	西八代郡市川三郷町市川大門	262.70	集落跡	奈良・平安・中世	学校建設	山梨県埋蔵文化財センター	H29.6.26,27,29,7.3 ～ 5,12.5 ～ 7
48	泉尻Ａ遺跡	甲斐市大下条	11.20	散布地	古墳	宅地造成	甲斐市教育委員会	H29.6.26 ～ H29.6.26
49	西久保遺跡	北杜市高根町	9.00	集落跡	縄文・弥生・古墳・平安	個人住宅	北杜市教育委員会	H29.6.26 ～ H29.6.27

2017年度　県内発掘調査一覧表

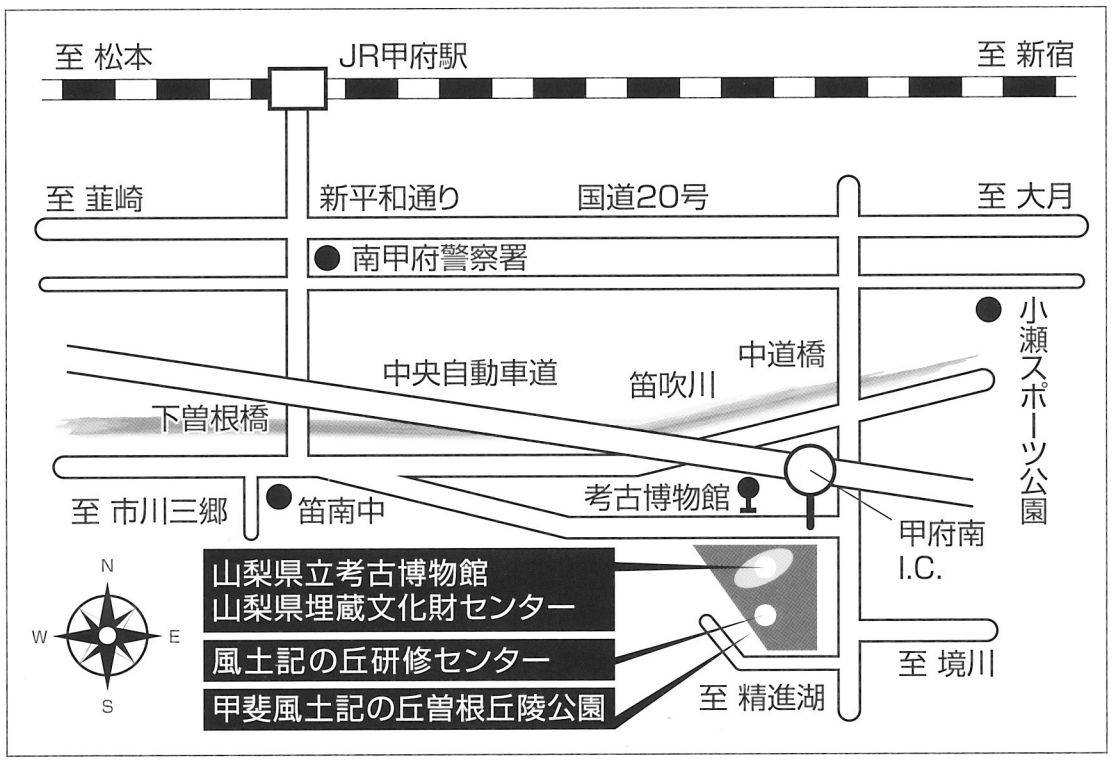
No.	遺跡の名称	所在地	面積（㎡）	遺跡の種類	時代	調査目的	調査主体	調査期間
50	御坂埋没条里遺跡	笛吹市御坂町	240.00	その他の遺跡	古墳・平安	その他開発	笛吹市教育委員会	H29.6.26 ～ H29.7.13
51	下田中遺跡	北杜市武川町	20.00	散布地	中世・近世	店舗	北杜市教育委員会	H29.6.29 ～ H29.6.29
52	塚場古墳群	上野原市上野原	2.00	古墳	古墳	自然崩壊	上野原市教育委員会	H29.6.29 ～ H29.6.29
53	甲ッ原遺跡	北杜市大泉町	8.00	集落跡	縄文・平安	個人住宅	北杜市教育委員会	H29.6.5 ～ H29.6.5
54	宗高遺跡	北杜市小淵沢町	53.80	散布地	縄文	個人住宅	北杜市教育委員会	H29.6.5 ～ H29.6.7
55	小田遺跡	大月市猿橋町	2.00	散布地	縄文・平安	個人住宅	大月市教育委員会	H29.6.6 ～ H29.6.6
56	御岳田遺跡	甲斐市大下条	351.00	集落跡	弥生・古墳・平安	その他建物	甲斐市教育委員会	H29.6.6 ～ H29.6.6
57	窪八幡神社社家坊中群	山梨市北	6.30	社寺跡	中世・近世	個人住宅	山梨市教育委員会	H29.6.7 ～ H29.6.9
58	長崎遺跡	笛吹市八代町	70.00	散布地	縄文・古墳・平安・近世	宅地造成	笛吹市教育委員会	H29.6.8 ～ H29.6.12
59	八幡廻Ｂ遺跡	南アルプス市下宮地	35.28		中世	宅地造成	南アルプス市教育委員会	H29.7.10 ～ H29.7.10
60	包蔵地外	甲府市飯田三丁目	159.10			学校建設	山梨県埋蔵文化財センター	H29.7.10 ～ H29.7.12
61	青柳町藤田池遺跡	南巨摩郡富士川町青柳町	492.00			店舗	富士川町教育委員会	H29.7.12 ～ H29.7.12
62	油川第３遺跡	北杜市大泉町	22.70	散布地	縄文	個人住宅	北杜市教育委員会	H29.7.18 ～ H29.7.18
63	青木東田遺跡・矢口遺跡	韮崎市清哲町	320.00	集落跡	縄文・奈良・平安	その他開発	韮崎市教育委員会	H29.7.18 ～ H29.7.21
64	大鳥居宇山平古墳 王塚古墳	中央市大鳥居	800.00	散布地	縄文・弥生・古墳・平安・中世・近世	農業基盤整備事業（農道含む）	中央市教育委員会	H29.7.18 ～ H30.3.28
65	甲府城下町遺跡	甲府市朝日	8.00	城下町	近世	道路	甲府市教育委員会	H29.7.20 ～ H29.7.20
66	甲府城下町遺跡	甲府市朝日	8.00	城下町	近世	集合住宅	甲府市教育委員会	H29.7.20 ～ H29.7.20
67	神の前Ｂ遺跡	北杜市高根町	80000.00			農業基盤整備事業（農道含む）	北杜市教育委員会	H29.7.24 ～ H29.11.30
68	大林南遺跡	山梨市上栗原	3.00	散布地	平安	農業基盤整備事業（農道含む）	山梨市教育委員会	H29.7.24 ～ H29.7.24
69	正縄ノ遺跡	南都留郡西桂町倉見	12.00	散布地	平安	個人住宅	西桂町教育委員会	H29.7.24 ～ H29.7.24
70	柳坪北遺跡	北杜市長坂町	19.95	集落跡	縄文	個人住宅	北杜市教育委員会	H29.7.25 ～ H29.8.10
71	柳坪北遺跡	北杜市長坂町	19.95	集落跡	縄文・弥生・平安	個人住宅	北杜市教育委員会	H29.7.25 ～ H29.8.10
72	住吉遺跡	南アルプス市古市場	70.43	散布地	弥生・古墳・中世	宅地造成	南アルプス市教育委員会	H29.7.25 ～ H29.9.13
73	中島遺跡・下河原遺跡	山梨市東地内	1310.00	散布地	縄文・中世・近世	道路	山梨県埋蔵文化財センター	H29.7.25 ～ H29.9.8
74	権現の木遺跡	北杜市高根町	25.00	散布地	縄文・平安・中世	個人住宅	北杜市教育委員会	H29.7.3 ～ H29.7.3
75	樋口遺跡	山梨市小原東	21.00	散布地	古墳・平安・中世	工場	山梨市教育委員会	H29.7.4 ～ H29.7.4
76	横森・横森前遺跡	北杜市高根町	37.00	散布地		個人住宅	北杜市教育委員会	H29.7.5 ～ H29.7.5
77	窪八幡神社社家坊中群	山梨市北	14.00	社寺跡	中世・近世	個人住宅	山梨市教育委員会	H29.7.7 ～ H29.7.7
78	百々・上八田遺跡	南アルプス市上八田	2.40	散布地	奈良・平安・中世	個人住宅	南アルプス市教育委員会	H29.7.7 ～ H29.7.7
79	桜井畑遺跡	甲府市川田町	39.10	集落跡	弥生・古墳・奈良・平安	宅地造成	甲府市教育委員会	H29.8.10 ～ H29.8.10
80	甲府城跡	甲府市丸の内	21.00	城館跡	近世	個人住宅兼工場又は店舗	甲府市教育委員会	H29.8.10 ～ H29.8.22
81	歌田金桜遺跡	山梨市歌田	93.00	散布地	平安	宅地造成	山梨市教育委員会	H29.8.17 ～ H29.8.23
82	岩窪遺跡	北杜市小淵沢町	26.00	集落跡	縄文	個人住宅	北杜市教育委員会	H29.8.18 ～ H29.8.18
83	甲府城下町遺跡	甲府市武田二丁目	12.00	城下町	近世	その他建物	甲府市教育委員会	H29.8.22 ～ H29.8.22
84	南大浜遺跡	上野原市大椚	6.00	散布地	縄文	個人住宅	上野原市教育委員会	H29.8.24 ～ H29.8.24
85	包蔵地外	南アルプス市飯野	56.00			宅地造成	南アルプス市教育委員会	H29.8.24 ～ H29.8.24
86	畑倉中原遺跡	大月市賑岡町	3.00	散布地	縄文・平安	個人住宅	大月市教育委員会	H29.8.24 ～ H29.8.25
87	緑が丘二丁目遺跡	甲府市緑が丘二丁目	29.20	集落跡	縄文・弥生・古墳・奈良・平安	道路	甲府市教育委員会	H29.8.25 ～ H29.8.25
88	渋田北遺跡	北杜市長坂町	80.00	散布地	平安	その他開発	北杜市教育委員会	H29.8.25 ～ H29.8.28
89	甲府城下町遺跡	甲府市中央三丁目	16.00	城下町	近世	個人住宅	甲府市教育委員会	H29.8.25 ～ H29.9.27
90	包蔵地外	南アルプス市桃園	5.50			道路	南アルプス市教育委員会	H29.8.28 ～ H29.8.28
91	久保Ａ遺跡	笛吹市八代町	240.00	散布地	古墳・奈良・平安・中世	宅地造成	笛吹市教育委員会	H29.8.28 ～ H29.8.31
92	石橋条里遺跡	笛吹市境川町	240.00	その他の遺跡	奈良・平安	その他建物	笛吹市教育委員会	H29.8.7 ～ H29.8.7
93	十王堂遺跡	山梨市七日市場、下井尻	123.50	散布地	奈良・平安	農業基盤整備事業（農道含む）	山梨市教育委員会	H29.8.7 ～ H29.9.20
94	朝気遺跡	甲府市朝気	75.00	集落跡	縄文・弥生・古墳・奈良・平安	店舗	甲府市教育委員会	H29.8.8 ～ H29.8.8
95	包蔵地外	山梨市牧丘町	36.50			道路	山梨市教育委員会	H29.9.11 ～ H29.9.28
96	包蔵地外	南アルプス市下今井	22.76			宅地造成	南アルプス市教育委員会	H29.9.12 ～ H29.9.12
97	宮ノ前第４遺跡	韮崎市藤井町	3.00	集落跡	縄文・平安	集合住宅	韮崎市教育委員会	H29.9.13 ～ H29.9.13
98	包蔵地外	南アルプス市落合	12.00			宅地造成	南アルプス市教育委員会	H29.9.13 ～ H29.9.13
99	寺部村附第７遺跡	南アルプス市鏡中條	31.27			道路	南アルプス市教育委員会	H29.9.14 ～ H29.9.15

2017年度　県内発掘調査一覧表

No.	遺跡の名称	所在地	面積（㎡）	遺跡の種類	時代	調査目的	調査主体	調査期間
100	屋敷遺跡	山梨市落合	26.00	散布地	平安・中世	個人住宅	山梨市教育委員会	H29.9.14 ～ H29.9.25
101	窪田遺跡	北杜市長坂町	14.50	集落跡	縄文・古墳・奈良・平安	個人住宅	北杜市教育委員会	H29.9.19 ～ H29.9.19
102	家之前遺跡	甲府市里吉三丁目	150.00	散布地	平安	宅地造成	甲府市教育委員会	H29.9.21 ～ H29.9.21
103	包蔵地外	甲斐市亀沢	66.00				甲斐市教育委員会	H29.9.25 ～ H29.9.26
104	包蔵地外	山梨市上神内川	32.50			その他建物	山梨市教育委員会	H29.9.25 ～ H29.9.28
105	松ノ尾遺跡	甲斐市中下条	10.00	集落跡	縄文・弥生・古墳・平安	その他建物	甲斐市教育委員会	H29.9.28 ～ H29.10.5
106	郷土海久保遺跡	南都留郡西桂町小沼	12.00	散布地	平安・近世	個人住宅	西桂町教育委員会	H29.9.29 ～ H29.9.29
107	藤塚古墳	甲府市上阿原町	4.00	古墳	縄文・弥生・古墳	個人住宅	甲府市教育委員会	H29.9.5 ～ H29.9.25
108	包蔵地外	南アルプス市中野	22.76			農業基盤整備事業（農道含む）	南アルプス市教育委員会	H29.9.5 ～ H29.9.5
109	四方津牧野遺跡	上野原市四方津	18.00	散布地	縄文・平安	工場	上野原市教育委員会	H29.9.5 ～ H29.9.5
110	中原遺跡	北杜市小淵沢町	17.40	集落跡	縄文・平安	その他建物	北杜市教育委員会	H29.10.11 ～ H29.10.11
111	大工南遺跡	山梨市大工	6.00	散布地	縄文	道路	山梨市教育委員会	H29.10.12 ～ H29.10.24
112	霞堤	甲斐市篠原	30.00			宅地造成	甲斐市教育委員会	H29.10.17 ～ H29.10.17
113	松ノ尾遺跡	甲斐市中下条	750.00	集落跡	縄文・弥生・古墳・平安	その他建物	甲斐市教育委員会	H29.10.17 ～ H30.2.16
114	下横屋遺跡	韮崎市藤井町	4.50	集落跡	縄文・弥生・古墳・平安	個人住宅	韮崎市教育委員会	H29.10.18 ～ H29.10.18
115	下横屋遺跡	韮崎市藤井町	4.50	集落跡	縄文・平安	個人住宅	韮崎市教育委員会	H29.10.18 ～ H29.10.18
116	高砂遺跡	北杜市須玉町	36.80	集落跡	弥生・平安	個人住宅	北杜市教育委員会	H29.10.18 ～ H29.10.18
117	鳥ノ小池南原遺跡	韮崎市穂坂町	3.00	集落跡	中世	店舗	韮崎市教育委員会	H29.10.2 ～ H29.10.2
118	鳥ノ小池南原遺跡	韮崎市穂坂町	3.00	散布地	中世・近世	その他建物	韮崎市教育委員会	H29.10.2 ～ H29.10.2
119	坂井南大原遺跡	韮崎市藤井町	4.50	集落跡	弥生・古墳	その他開発	韮崎市教育委員会	H29.10.23 ～ H29.10.23
120	坂井南大原遺跡	韮崎市藤井町	4.50	集落跡	縄文・古墳	その他開発	韮崎市教育委員会	H29.10.23 ～ H29.10.23
121	上窪遺跡	中央市下河東	25.00	集落跡	平安・中世・近世	その他建物	中央市教育委員会	H29.10.26 ～ H29.10.27
122	東田遺跡	甲州市塩山西広門田	63.00	集落跡	縄文・古墳	店舗	甲州市教育委員会	H29.10.26 ～ H29.10.31
123	包蔵地外	南アルプス市下宮地	18.51			宅地造成	南アルプス市教育委員会	H29.10.27 ～ H29.11.1
124	包蔵地外	山梨市上栗原	9.00			農業基盤整備事業（農道含む）	山梨市教育委員会	H29.10.6 ～ H29.10.11
125	教来石民部館跡	北杜市白州町		城館跡	中世	保存目的の範囲確認	北杜市教育委員会	H29.11.10 ～ H29.12.8
126	十王堂遺跡	山梨市七日市場	4.50	散布地	奈良・平安	農業基盤整備事業（農道含む）	山梨市教育委員会	H29.11.13 ～ H29.11.14
127	武田城下町遺跡	甲府市武田四丁目	5.00	城下町	中世	学校建設	甲府市教育委員会	H29.11.14 ～ H29.11.14
128	桜畑遺跡	北杜市長坂町	23.60	散布地	近世	個人住宅	北杜市教育委員会	H29.11.15 ～ H29.11.15
129	甲府城下町遺跡	甲府市中央五丁目	45.60	城下町	近世	その他建物	甲府市教育委員会	H29.11.15 ～ H29.11.15
130	緑が丘二丁目遺跡	甲府市緑が丘二丁目	13.20	集落跡	縄文・弥生・古墳・奈良・平安	宅地造成	甲府市教育委員会	H29.11.16 ～ H29.11.16
131	榎原・天神遺跡	南アルプス市野牛島・榎原地内	173.40	散布地	古墳・平安	道路	南アルプス市教育委員会	H29.11.2 ～ H30.3.12
132	築地遺跡	韮崎市大草町	4.00	集落跡	縄文・弥生・古墳	個人住宅	韮崎市教育委員会	H29.11.20 ～ H29.11.20
133	包蔵地外	南アルプス市野牛島	70.43			宅地造成	南アルプス市教育委員会	H29.11.22 ～ H29.11.22
134	甲府城下町遺跡	甲府市北口	68.30	城下町	近世	集合住宅	甲府市教育委員会	H29.11.22 ～ H29.11.22
135	大原北遺跡	甲斐市竜王新町	30.00	散布地		道路	甲斐市教育委員会	H29.11.27 ～ H29.11.29
136	包蔵地外	山梨市下井尻	24.00			その他建物	山梨市教育委員会	H29.11.27 ～ H29.12.5
137	旭西久保Ｂ遺跡	北杜市高根町	17.40	散布地	平安・中世	個人住宅	北杜市教育委員会	H29.11.28 ～ H29.11.28
138	塩部遺跡	甲府市塩部二丁目	159.10	集落跡	縄文・弥生・古墳・奈良・平安・中世・近世・近現代	学校建設	山梨県埋蔵文化財センター	H29.11.28 ～ H29.12.1
139	後原遺跡	北杜市高根町	10.80	集落跡	縄文・古墳・中世	個人住宅	北杜市教育委員会	H29.11.29 ～ H29.11.29
140	包蔵地外	南アルプス市上市之瀬	7.07			農業基盤整備事業（農道含む）	南アルプス市教育委員会	H29.11.30 ～ H29.11.30
141	前御勅使川堤防址群	南アルプス市百々				店舗	南アルプス市教育委員会	H29.11.6 ～ H29.11.6
142	狐塚Ａ遺跡	南アルプス市下市之瀬	80.05		縄文・中世	工場	南アルプス市教育委員会	H29.11.7 ～ H29.11.24
143	下馬城遺跡	韮崎市大草町	3.00	集落跡	縄文	個人住宅	韮崎市教育委員会	H29.11.7 ～ H29.11.7
144	藤塚古墳	甲府市上阿原町	10.00	古墳	縄文・弥生・古墳	個人住宅	甲府市教育委員会	H29.11.8 ～ H29.11.8
145	青木東田遺跡	韮崎市清哲町	69.00	集落跡	平安	農業基盤整備事業（農道含む）	韮崎市教育委員会	H29.12.11 ～ H29.12.15
146	勝沼氏館跡	甲州市勝沼町	529.50	城館跡	縄文・平安・中世	遺跡整備	甲州市教育委員会	H29.12.11 ～ H30.3.30
147	南沢遺跡	北杜市白州町	2003.00	集落跡	縄文・平安・中世	農業基盤整備事業（農道含む）	北杜市教育委員会	H29.12.11 ～ H30.3.30
148	包蔵地外	山梨市三ヶ所	18.00			その他建物	山梨市教育委員会	H29.12.14 ～ H29.12.18
149	仲林遺跡	北杜市高根町	261.10	散布地	中世	その他開発	北杜市教育委員会	H29.12.14 ～ H29.12.19

2017年度　県内発掘調査一覧表

No.	遺跡の名称	所在地	面積（㎡）	遺跡の種類	時代	調査目的	調査主体	調査期間
150	春日神社裏遺跡	笛吹市春日居町	18.00	散布地	平安	集合住宅	笛吹市教育委員会	H29.12.15 ～ H29.12.28
151	横森東下遺跡	北杜市高根町	21.60	散布地	平安・中世	個人住宅	北杜市教育委員会	H29.12.20 ～ H29.12.20
152	岩窪遺跡	北杜市小淵沢町	80.00	集落跡	縄文	店舗	北杜市教育委員会	H29.12.20 ～ H29.12.22
153	北浦遺跡	甲斐市龍地	35.00	散布地	縄文	個人住宅	甲斐市教育委員会	H29.12.25 ～ H29.12.25
154	堂坂上遺跡	韮崎市藤井町		散布地	縄文	個人住宅	韮崎市教育委員会	H29.12.26 ～ H29.12.26
155	天神前東遺跡	山梨市大野	92.00	散布地	縄文・平安	工場	山梨市教育委員会	H29.12.26 ～ H30.2.2
156	包蔵地外	甲州市塩山上於曽	28.50			その他建物	甲州市教育委員会	H29.12.4 ～ H29.12.13
157	包蔵地外	山梨市小原西	20.00			宅地造成	山梨市教育委員会	H29.12.4 ～ H29.12.7
158	駒井砂宮神遺跡	韮崎市藤井町	2.00	集落跡	平安・中世	個人住宅	韮崎市教育委員会	H29.12.7 ～ H29.12.7
159	御坂埋没条里遺跡	笛吹市御坂町	18.00	その他の遺跡	平安	宅地造成	笛吹市教育委員会	H29.12.8 ～ H29.12.14
160	天神Ｃ遺跡	北杜市大泉町	21.20	集落跡	縄文・平安	道路	北杜市教育委員会	H30.1.11 ～ H30.1.11
161	栗原氏屋敷跡	山梨市上栗原	19.00	城館跡	中世	道路	山梨市教育委員会	H30.1.15 ～ H30.1.17
162	前田南遺跡	北杜市小淵沢町	104.30	散布地	縄文・平安	その他開発	北杜市教育委員会	H30.1.15 ～ H30.1.18
163	蔵ノ西遺跡・加賀美条里遺構	南アルプス市加賀美	46.11	散布地	奈良・平安・中世	宅地造成	南アルプス市教育委員会	H30.1.17 ～ H30.1.26
164	前御勅使川堤防址群	南アルプス市下高砂	9.45			その他建物	南アルプス市教育委員会	H30.1.18 ～ H30.1.18
165	包蔵地外	甲斐市大久保地内	243.25			道路	山梨県埋蔵文化財センター	H30.1.22 ～ H30.2.2
166	増田・永井条里遺跡	笛吹市八代町	24.00	その他の遺跡	奈良・平安	宅地造成	笛吹市教育委員会	H30.1.24 ～ H30.1.30
167	甲府城下町遺跡	甲府市丸の内二丁目	36.00	城下町	中世・近世	その他建物	甲府市教育委員会	H30.1.25 ～ H30.1.26
168	お宮横遺跡	南巨摩郡身延町和田		集落跡	縄文	個人住宅	身延町教育委員会	
169	狐原遺跡	笛吹市石和町	78.00	集落跡	奈良・平安	学校建設	山梨県埋蔵文化財センター	H30.1.30 ～ H30.2.27
170	宗持の里	南アルプス市落合	23.30			農業基盤整備事業（農道含む）	南アルプス市教育委員会	H30.1.9 ～ H30.1.15
171	日下部遺跡	山梨市七日市場	60.00	集落跡	縄文・弥生・奈良・平安・中世	その他建物	山梨市教育委員会	H30.1.9 ～ H30.1.19
172	包蔵地外	山梨市大野	148.00			工場	山梨市教育委員会	H30.2.13 ～ H30.2.20
173	西久保Ａ遺跡 他７遺跡	北杜市武川町	10070.00	散布地	中世・近世	農業基盤整備事業（農道含む）	北杜市教育委員会	H30.2.13 ～ H30.2.28
174	法喩庵遺跡	山梨市牧丘町		散布地	縄文・平安・中世・近世	道路	山梨市教育委員会	H30.2.13 ～ H30.3.5
175	甲府城下町遺跡	甲府市相生二丁目	19.00	城下町	近世	その他開発	甲府市教育委員会	H30.2.14 ～ H30.2.20
176	榎原・南原遺跡	南アルプス市榎原	22.39	散布地	平安・中世	宅地造成	南アルプス市教育委員会	H30.2.20 ～ H30.2.20
177	北浦遺跡	甲斐市龍地	2.16	散布地	縄文	個人住宅	甲斐市教育委員会	H30.2.21 ～ H30.2.21
178	北浦遺跡	甲斐市龍地		散布地	縄文	個人住宅	甲斐市教育委員会	H30.2.21 ～ H30.2.21
179	今井前第４遺跡、今井前第６遺跡	南アルプス市寺部地内	60.27	散布地	弥生・古墳・奈良・平安・中世	道路	南アルプス市教育委員会	H30.2.28 ～ H30.3.13
180	包蔵地外	山梨市鴨居寺	134.00			その他建物	山梨市教育委員会	H30.2.5 ～ H30.2.14
181	狐原遺跡	山梨県笛吹市石和町	16.00	集落跡	奈良・平安	学校建設	山梨県埋蔵文化財センター	H30.2.5 ～ H30.2.15
182	吉田北原Ａ遺跡	南アルプス市吉田	23.94	散布地	縄文・弥生・近世	宅地造成	南アルプス市教育委員会	H30.2.6 ～ H30.2.6
183	田安陣屋跡	山梨市一町田中	3.00	その他の遺跡	近世	個人住宅	山梨市教育委員会	H30.2.7 ～ H30.2.7
184	小揚遺跡、大工北遺跡	山梨市堀内、大工地内	60.50	散布地	縄文・古墳・平安	道路	山梨市教育委員会	H30.3.14 ～ H30.3.27
185	包蔵地外	上野原市上野原	16.00			宅地造成	上野原市教育委員会	H30.3.15 ～ H30.3.15
186	柳沢上原遺跡	北杜市武川町	50.70	散布地	縄文・平安	その他開発	北杜市教育委員会	H30.3.19 ～ H30.3.19
187	豊気遺跡・増田永井条里遺跡	笛吹市八代町	30.00	集落跡	縄文・古墳・奈良・平安	宅地造成	笛吹市教育委員会	H30.3.19 ～ H30.3.27
188	姥神遺跡	北杜市大泉町	15.60	集落跡	縄文・弥生	個人住宅	北杜市教育委員会	H30.3.23 ～ H30.3.23
189	包蔵地外	南アルプス市小笠原	15.30			宅地造成	南アルプス市教育委員会	H30.3.23 ～ H30.3.23
190	今井前第４遺跡	南アルプス市寺部地内	8.70	散布地	弥生・古墳・奈良・平安・中世	宅地造成	南アルプス市教育委員会	H30.3.23 ～ H30.3.23
191	武田金吾屋敷跡	山梨市東後屋敷	17.00	集落跡	中世	個人住宅	山梨市教育委員会	H30.3.23 ～ H30.3.28
192	窪田遺跡	北杜市長坂町	19.30	集落跡	縄文・古墳・奈良・平安	その他建物	北杜市教育委員会	H30.3.26 ～ H30.3.26
193	駒沢遺跡	甲斐市宇津谷	9.00	散布地	縄文	農業基盤整備事業（農道含む）	甲斐市教育委員会	H30.3.26 ～ H30.3.26
194	法性寺前遺跡	北杜市長坂町	102.30	散布地	縄文・中世・近世	個人住宅	北杜市教育委員会	H30.3.27 ～ H30.3.29
195	鶯堂遺跡	笛吹市一宮町	12.00	散布地	平安	店舗	笛吹市教育委員会	H30.3.7 ～ H30.3.14
196	駒沢遺跡	甲斐市宇津谷	32.00	散布地	縄文	農業基盤整備事業（農道含む）	甲斐市教育委員会	H30.3.7 ～ H30.3.7



●路線バスご利用
甲府―豊富（中道橋経由）考古博物館で下車
●高速バスのご利用（2時間）
新宿西口……南回り、甲府行（中道下車）徒歩5分
南甲府インター下車・徒歩10分

年　報　34

印刷日　2018年　8月16日
発行日　2018年　8月22日

発行所　山梨県埋蔵文化財センター
山梨県甲府市下曽根町923
TEL　055-266-3016
FAX　055-266-3882
E-mail : maizou-bnk@pref.yamanashi.lg.jp

印刷所　青柳印刷株式会社
山梨県甲斐市長塚526
TEL　055-277-5511